

THE MONTHLY REPORT
OF
SEITO JITSUGYO KIOKWAI.

NOVEMBER, 1920 No. 34.

青島實業協會

報月

第 參 拾 四 號



工	支	貿	海	銀	商	青	附	法	協	倫	
業	炭	易	道	場	況	錄	彙	報	規	場	
石	那	鐵	並	為	要	島	運動部	會	敦	銀	塊
の		及	塊	替	錄		彙	錄	銀	塊	相
石		鐵	並	替	況		彙	錄	銀	塊	相
炭		易	道	場	況		彙	錄	銀	塊	相
業		易	道	場	況		彙	錄	銀	塊	相

△本號要目▽

▼青島實業協會月報 第參拾四號 目次▲

工業

△青島に於ける燐寸製造業……………一

資 料

△支那の石炭……………二

貿 易

△青島貿易近況(八月)……………二一

△主要輸出入貨物情勢(九月)……………二二

△民船貿易(九月)……………二三

海運及鐵道

△青島港出入船舶(八月)……………二三

△山鐵發送貨物(九月)……………二三

△山錢主要驛出貨増減(九月)……………二四

△北支飢饉と山鐵輸送關係……………二四

金 融

△銀塊並に爲替相場……………二五

商 況 (十月)

□綿糸布 □砂糖 □燐寸 □白米 □花生油

□花生實 □桐材 □石炭 □鶴卵 □原鹽

青 島 要 錄

△青島の税關……………二八

△屠獸場近況……………三二

△納入方注意……………三二

△署内組織變更……………三二

△李村の葉煙草……………三三

△發電所擴張……………三四

△貨客無賃輸送……………三五

△新市場の現況……………三五

△海州と青島……………三六

協 會 錄 事

△十月定例總會……………三八

△役員會……………四〇

△臨時總會……………四〇

△工業部會……………四一

△重要物產部會……………四一

△神戸商業會議所議員視察團來青記事……………四三

△東京府下商工業者鮮滿視察團來青記事……………四四

△庶務要項……………四五

附屬運動部彙報

△ウキンナーカップ競技……………四六

△實業對米艦野球試合……………四六

△山東野球大會參加……………四六

△青州附近雲門山探勝……………四六

△飯塚優勝旗野球大會……………四七

法 規

△有價證券現物取引規程……………四七

倫敦銀塊相場

△大正九年十一月中表示……………四八

寄贈書類目錄

△大正九年十月到著の分……………四八



青島實業協會月報 第參拾四號

工業

青島に於ける燐寸製造業

△輸入燐寸衰退 從來全支那に輸入せらるゝ燐寸は夥しき數量に達し其の大正二年中に在ては二十八萬餘噸を算したるも最近に於ては減退の傾向を示し來れりされど大正五年中は尙二十餘萬噸の輸入を維持し此價額七百萬兩に上り原料軸木も亦百餘萬兩の輸入を見るの狀況に在り而して同年の統計によれば之等輸入燐寸の八十三%は日本製品にして香港十六%其他1%の割合を示し殆んど本邦獨占の姿に在りしが近年に至り支那内地燐寸業の勃興と共に輸入は著しく不利の狀態に陥り年々激減の趨勢を辿り大正六年に於ては十六萬噸の輸入を見しに止まり更に同七年に於ては十三萬噸に減退せり翌八年は銀價の昂騰により聊か輸入を有利に誘ひ十六萬噸の輸入を呼ひたりとは云へ大勢年毎に非にして益衰頽の步調を辿りつゝあるは爭ふ可からず加ふるに大正七年後半期以後に於ける排日は頗る深酷を極め有らゆる手段を講じて輸入邦貨の上に迫害を加へ盛んに日貨排斥、不買同盟等を行ひ學生等は業を捨てゝ之れに狂奔せる爲本邦燐寸は一時尠なからざる打撃を蒙りたる一方支那人經營の各燐寸工場は機乘すべしとして之に附和雷同し自家製品の販路擴張に勤めたる結果益輸入燐寸の激減を示すと同時に支那内地工業の隆興を促進せしむるに至れり殊に山東問題の中心地點たる濟南に於ける運動は最も熾烈を極め青島に輸入せらるゝ日本品及青

島邦人工場製造に係る燐寸は其大消化市場を失ひ彼我の商況全く杜絶するの悲境に遭遇せり前記の事情は本邦に於ける燐寸工場に禍する事頗る甚大なるものあり爲に阪神間の各工場に於ては此の大勢に鑑みて其生産を減縮し或は『安全』に急轉し或は全然工場を閉鎖せるもありたるが一方同工業の支那移轉を策するものを生じ現に青島、天津、上海、滿洲等の各地に於ける邦人經營に係る燐寸工場數漸次増加し何れも相當成績を擧げつゝあるは既に世人周知の事實にして將來益支那内地に於て製造するの有利なるを認識せられつゝあり

支那各港中燐寸の輸入港として知られたるは青島、天津、大連汕頭、芝罘、上海の數港にして就中青島は其主位を占めしが支那内地工場の勃興と共に各港共一齊に減退の步調を辿り天津の如き年々約一萬噸の減退を示すに至りしも青島は他港に比すれば其衰退の度寧ろ遅々たるものあり即ち大正五年三萬六千六百五十噸より大正六年は三萬四千九百五噸に減退し同七年中二萬六千五百五十七噸の輸入を見しが同八年中に於ては青島に於ける邦人工場の勃興と共に一萬六千九百二十九噸に激減するに至れり今全支那に於ける各港別輸入數量を示せば左の如し(單位噸)

輸入港	大正五年			同 六年			同 七年		
	青島	天津	大連	青島	天津	大連	青島	天津	大連
芝罘	三三、四二	一四、四九	一、四七	三三、四二	一四、四九	一、四七	三三、四二	一四、四九	一、四七
上海	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七
他	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七	一、四七
計	三三、四二	一四、四九	一、四七	三三、四二	一四、四九	一、四七	三三、四二	一四、四九	一、四七
次に入燐寸の仕出地別を示せば									
大正五年	三三、四二	一四、四九	一、四七	三三、四二	一四、四九	一、四七	三三、四二	一四、四九	一、四七
大正六年	三三、四二	一四、四九	一、四七	三三、四二	一四、四九	一、四七	三三、四二	一四、四九	一、四七
大正七年	三三、四二	一四、四九	一、四七	三三、四二	一四、四九	一、四七	三三、四二	一四、四九	一、四七

日本及臺灣
其他

一九三三年 一七、三三三
一九三二年 一七、一七六
一九三一年 一六、三〇二
一九三〇年 一五、三三三

△青島輸入燐寸 青島は燐寸の輸入港として支那各港中其主位を占め大正元年中七萬七千四百五十一噸の輸入を見るの盛況を極めしが翌二年に於ては濟南振業公司の新設により氣勢を挫かれて六萬六千六百六噸に減退し爾來年々三萬四五千噸の輸入を維持しつつあるの狀況に在り大正六年に至り始めて青島に邦人燐寸工場（山東火柴公司）の創設せらるゝあり翌七年には青島燐寸工場の新設を見續いて東魯火柴公司の開業となり本年亦た福隆火柴公司の新設ありたる等續々邦人會社の勃興を來し輸入は漸次衰退の步調を辿り大正八年中に於て僅かに一萬六千九百二十九噸の輸入を見たるに過ぎざりき而して輸入燐寸の殆んど全部は別表に示せる如く本邦製品にして間々商況及在荷の如何により大連方面よりの輸入を呼ふことありとするも之とて本邦製品の大連に移出せられたるものにして上海よりの輸入は全然杜絶し香港は殆んど異例に屬せり故に之を半面より觀察すれば本邦工場の支那内地移轉に外ならずして當地工場の勃興と共に輸入燐寸が漸次其範圍を狭少せられつゝあるは寧ろ當然の結果にして今や山東省内の需給は輸入燐寸によらずして優に充足せらるゝのみならず寧ろ生産過剰を訴ふるの狀況に推移せりされど大正八年三四月の頃に於ては内地及大連堆貨過多の爲め又本年三四月頃に於ては銀價の高潮に乘じ一時夥しき輸移入を見當地燐寸業に採り非常の脅威を感じたり雖ども品質本位より見るも内容より比較するも當地の製品は内地品に比し遙かに優良なるのみならず需要の緩急に應じ生産を加減せらるゝの利便あり普通の場合に於ては當地製品に對抗せん事思ひもよらず到底今日

以上の活況を望み難かるべく只本邦製品は金建なるの故を以て銀價の高低により爲替を中心として銀建たる當地製品との間に競争を惹起するは將來と雖ども屢々繰返さるべき問題なるべし今當港輸入燐寸の毎年別表を示せば

年別	輸入數量	年別	輸入數量
一九〇八年	三七、二三六噸	一九一五年	一四、六九三噸
一九〇九年	四五、八〇八	一九一六年	三六、六五〇
一九一〇年	四七、四〇〇	一九一七年	三四、九〇五
一九一一年	四九、四三九	一九一八年	二六、一五七
一九一二年	七七、四五一	一九一九年	一六、九二九
一九一三年	六六、一〇六	一九二〇年	
一九一四年	三四、二九二		

大正五年	大正六年	大正七年	大正八年
三三、三三〇	三三、五五五	三六、二二五	三六、五五五
三三、三三〇	三三、五五五	三六、二二五	三六、五五五

其計 他 溝 連 本 地

△青島の燐寸工業 青島が燐寸工業地として知らるゝに至れるは最近の事に屬し從來は單に燐寸の消化市場として顯はれ奥地に濟南を控へ年約八萬噸の消化能力を有すを認められつゝあるに拘らず濟南に支那人經營の一振業公司あり其年額一萬五千餘噸を出せるに過ぎずして省内需要の大部分は之を輸入に仰ぎ來れるの實情に在りしが青島が日本の占有に歸するや邦人として此地に企業の志を抱き渡來するもの多く殊に十數年來需給關係を保ち來れる本邦燐寸業者中には青島が燐寸の需要地たるのみならず氣候最も加工に好適し殊に當時山東省内に於ける軸木原木白楊樹の豊富なる事並に職工賃銀の低廉なるとに着眼し此地に燐寸製造業を起すの有利なるを考ふるに至りたる時恰かも支那内地燐寸工業の勃興と共に輸入は日に不利の狀況に陥り阪神間の本邦燐寸業は大打撃を蒙り前除不安に襲はれつゝあるの時

に會し期せずして當地燐寸企業熱勃興の機運を醸成するに至れり然るに省内白楊樹の供給は實験に當りて最初の期待に反せるを發見せしが此時は既に青島が輸入港として原料の輸入に利便なる事を考へ日本樺木の輸入を企て土產白楊樹と均しき價格を以て柚木原料を得らるゝの途講せられたるを以て毫も痛痒を感ぜざるに至れり殊に燐寸加工は手工業なるを以て火力動力を使用せず且其作業は簡單なるを以て智能淺薄なる支那人に好適せる關係上青島は夙に燐寸企業の好適地として同業者の注意を惹きしか軍當局に於ても當地工業の前途大に有望なるを考へ之が保護獎勵の方針を以て先臺東鎮より青島に通ずる一帯の地を開拓して諸般の設備を完成し一般希望者を貸下ぐるに至りたるは大正五年末の事にして待構へたる燐寸業者は直ちに工場の建設に着手し大正六年六月神戸明石惣五郎氏の山東火柴公司を始めとして青島燐寸、山東製軸、東魯火柴等諸會社の建設相繼いで起り茲に燐寸業の毀盛を見るに至れり殊に青島は水運の便上海に亞ぐ良港にして鐵路直ちに燐寸の大消化市場たる濟南に聯結せられ工業地として蓋し絶好の地位を占めたるものにして始業當時に於ける各社の製品が如何に輸入を壓倒し好賣行を示し多大の收益を擧げ得たるかは未だ世人の記憶に新たなる處なり其後排日騷擾等の爲時々迫害を受け多少の打撃を蒙りたる事無きに非ざるも實需衰へず漸く青島燐寸の勢力を成すに至れり越へて本年五月福隆火柴公司を加へて茲に青島に四燐寸工場一軸木工場を算し一ヶ年六萬餘噸を算出し得るの盛況を示すに至れり現在青島及附近濟南等に於ける既設並に未設備中のものを掲ぐれば左の如し

東魯燐寸株式會社（青島）

創立 大正七年四月 資本金 百萬圓四分の一拂込
 一日生産力 百 噸 職 工 日本 人 二十 四 人 支 那人 二 千 二 百 五 十 人
 軸 配 列 機 第一工場二五臺 第二工場二五臺
 本社は最初軸木の製造を目的として村井八百吉氏により創設せられたるものなりしが其後幾度も無く燐寸の製造に轉じ毎日三四十噸の製産を續け山東青島兩燐寸工場と共に青島燐寸界の一勢力たりしが燐寸の活況と共に事業益進展の機運に向ひ擴張の必要を感じたるを以て大阪の小林吉右衛門氏と提携して之を百萬圓の株式組織と爲し大に濟南及奧地方面に向つて販路の開拓に務め其成績大に見るべきものあり製品驅馬、三福等は市場の好評を博し一日四五十噸の生産を消化するの盛況を示せり茲に於て小林氏は青島燐寸工業の前途益有望なるを着取し本年九月更に明石氏經營の山東火柴工廠を買収して之を東魯燐寸に併合し第二工場と爲し極力優良品の製出に努力するに至れり山東火柴は青島に於ける最古の工場として一般支那商間に信用厚く一日四五十噸の生産を續け來りしが遂に東魯に併合せらるるに至れり爾來同社は一日百噸の製産力を有するの盛況を示し舊山東火柴の萬福三獸等の商標を廢して新たに三星、進福の二品を發賣し青島燐寸界に雄飛するに至れり社長小林吉右衛門氏は常に大阪に在りて専務取締役村井八百吉氏之が經營の任に當り取締役石神與三郎甲斐友比古二氏之を補佐せり

青島燐寸株式會社（青島）
 創立 大正六年六月 資本金 卅萬圓（四分の一拂込）
 一日生産力 七 十 噸 職 工 日本 人 十 五 名 支 那人 七 百 五 十 名
 軸 配 列 機 三 十 五 臺
 本社を神戸に置き大正七年二月青島工場の設備を完成し双喜大吉の二商標を發賣せしに頗る好評を博し毎日四五十噸の生産を

爲し來りしが燐寸の活況と件れ漸次其製産力を増加して今や一日七十噸の生産力を現はし最近新商標を發賣して東魯燐寸と共に青島燐寸界の二大勢力を爲すに至れり社長瀧川儀作氏は神戸本社に在り當工場は主として事務取締役近藤力藏支配人岩田眞與一氏の手により經營せられつつあり

□福隆火柴公司（滄口）

資本 金 五十萬圓（四分の一拂込） 創立 大正九年四月
 一日生産力 十五噸 職工 日本人五名 支那人百八十名
 軸配列機 八 臺 製軸設備ナシ

本社は始め天神伊三氏外一名により小規模に計畫せられたるものなりしが燐寸の好況と共に金五十萬圓の株式組織と爲し本年四月繰業を開始せるものにして青島に於ける最新の工場に係り前途未知數に屬せりと云へ天神氏等は既に斯業に相當の經驗を積み居れば必ずや良好の成績を収め得べきは疑を容れざる所なり其の製品猴馬は發賣日尙淺きに拘らず既に市場に其の名を唱はるるに至れり

□膠東火柴公司（城陽）

資本 銀 十萬圓 創立 大正九年七月
 一日生産高 七 噸 職工 支那人約百人
 軸配列機 五 臺 製軸設備ナシ

支那人經營の合資組織にして燐寸の好況と排日の機會に乗じて計畫せられたるものなりしも時機を失し日貨排斥も既に其聲を收めたる今日に至り漸く其製品松虎を發賣するの運に至りしが燐寸に經驗薄き支那人の製品の事なれば市場の不評を免かれず輸入安物と同値に取扱はれつつあり事情既に斯くの如くなれば昨今一日漸く七噸の生産を見るに過ぎず殊に工場經營に拙劣なる

る支那人の集合體なるを以て青島に於ける充實せる邦人工場の優良品に對し永く其營業狀態を安固ならしめ得るやは疑問となさる

□振業火柴公司（濟南）

資本 銀 二十萬圓 創立 大正二年八月
 一日生産力 七十噸 職工 約 七百五十人
 軸配列機 三十二臺 製軸設備アルモ不足ニ付日本ヨリ購入

本社は濟南に於ける唯一の燐寸工場にして純支那人の經營に係り山東省内最古の工場なり會社設立前に於ける青島港輸入の燐寸は一ヶ年實に七萬噸以上に達し非常の盛況を極めしが同社の設立によりて遽に減退せるは別表の示せる如くにして支那官憲は同社に對しては特別の保護を加へ二百支里内二十ヶ年獨占權を附與せられたるを以て同社は膨大なる消化市場たる濟南を掌握して常に供給の伴はざるを嘆つの狀態にあり同社の營業は實に泰山の安きに在りと云ふべし加ふるに過般の排日は會社に幸して其製品三光、國旗等は一時青島製品に比し七元の高値を唱へ生産を保て消化せらるるの盛況を示せり會社は製軸機の設備あるも不足軸木を神戸より其他原料は大阪、東京より輸入を仰ぎつつあり

□膠東青蚨火柴公司（芝罘）

資本 銀 十萬圓 創立 大正五年二月
 一年生産高 三千噸 製軸設備ナシ

同社は裏山東に於ける唯一の燐寸工場なるも交通不便の爲販路は同地方一帯に限られ尙年々幾分の輸入を見るの狀態にあり製品青蚨及九星を發賣しつつあるも商況振はず年三千噸を生産するに過ぎず

○山東製軸公司(青島) 資本銀 十萬圓 創文立 大正七年五月

製軸機 四臺 休業中 職工 休業中

本社は中村小一郎氏の個人經營に屬するものにして山東省内白楊樹の豊富なるに著眼し之を製軸して青島及濟南各工場に供給し進んで上海北京天津に及ぼさん計畫を以て創設せられたるものなるが省内白楊樹は既に燐寸原料の項下に述べたる如く全然豫期に反するの狀態にして其計畫は畫餅に歸せりと雖ども尙内地樅木を輸入加工し青島燐寸其他の需要に應じ來りしが青島に於ける各工場は既に製軸機の設備を完成し他よりの供給を仰ぐの要なく濟南亦舊來の取引慣例により日本より直接輸入しつゝありて販路の展開に苦心せる矢先排日風潮益甚だしく到底上海北京等に向つて新販路開拓の見込絶々目下休業中に在り

□其他の工場□其他濰縣及青洲に支那人經營の小規模燐寸工場あり毎日七噸より十噸見當の生産を爲しつゝあるも排日煽動を自家防衛の具として僅かに擡頭せるに過ぎずして多く望を將來に囑し難き事情に在り

□未設準備中のもの尙未設なるも許可出願中のものに大山格司等の計畫になれる齊魯燐寸株式會社あり日華製軸公司ありて夫々準備を急ぎつゝありと云ふ

△山東省内燐寸需給觀 山東省内(芝罘を除く)に於ける燐寸工場の概況は前述の如く青島に四燐寸工場一製軸工場濟南に一燐寸工場あり濰縣青洲城陽に小規模工場ありて其生産能力一ヶ年九萬噸に達し漸く省内の需要に對し生産過剩を訴ふるの狀況に推移せり然るに省内燐寸の需要年額は從來八萬噸と稱せられ

諸般の計畫亦此標準により企圖せられつゝありしが排日以来天津、上海方面より奥地へ出廻るもの漸次多きを加へたる模様にして最近青島、濟南及沿線各市場の消化能力は六、七萬噸の間に在るものゝ如く現在の工場設備を以て優に需給を支持し得るの狀態に在り濟南は山東に於ける燐寸の重要消化市場にして毎月四五千噸の消化力を有すと認められ當地製品及輸入品の大部分は主として同市場に於て消化せらるゝの實情に在るを以て濟南を離れては青島なく全く唇齒の關係に立てり同市場は山東の心臟部に位し山鐵津浦の兩鐵道之が動脈を爲して四通八達の要衝に當り販路の擴大なる消化力の旺盛なる殆んど其界限を知らず努力の如何によりては尙充分發展伸張の餘地を存すること到底他地方の及ぶ所に非ずして當港燐寸の隆頽は一に繫て同市場の商況如何に在りと云ふも過言に非ざるなり然るに同地には支那人の經營に係る振業火柴公司ありて一ヶ年約一萬八千噸の生産力を有し其製品は多年賣込來れる關係上需要方面の信用厚く動かすべからざる根底を有し特に官憲の保護ありて同地方に於ける優越的地歩を穫得しつゝありと雖ども同地方の膨大なる需要に應ずべく餘りに微弱なるものにして尙年々三萬餘噸の不足補給に對し濟南市場に向つて驥足を伸しつゝあるは河南及南直隸の南宮趙州曹州所在燐寸工場にして青島燐寸及輸入品を加へて同市場は常に激烈なる競争戦を見つゝあり此間に在りて青島燐寸は最も絶好の立場に在るものにして輸入燐寸に比するも亦遙かに有利の地位を占め益青島燐寸工業の好望を想むべしが大正七年七月排日の勃發と共に濟南は排日學生團の起る地として氣勢最も熾烈を極め有らゆる強壓手段を施して日貨の低制を行ひ日貨を破壊し所有者を處罰する等の暴行を敢てし商民を強

て不買同盟を宣言し此唯一の絶好市場を騒亂せしめたるを以て商況全く杜絶し非常の脅威を感ずるに至れり此時に當りて最も痛撃を受けたるものは綿糸布業者及燐寸業者にして殊に當地燐寸業者は重要消化市場を失ひて堆貨の處分に窮し工場は休業を繼續するの止むなきに至れり然れど膨大なる實需に對する供給の不足は何時迄も此狀態の繼續を容さず支那商人は強制の網をくづりては竊かに當地製品の買付を爲し當地工業者も亦其商標中青島製品なる文字を削除して之を濟南市場に送るが如き滑稽を演ぜしが學生等も燐寸の如き必需品に對し強て不買を繼續し難き事情を看取せるものか遂には其情を知りつゝも迫害の手を寛くするに至りたる一方支那官憲も亦漸く不良學生の取締を嚴にするに至り茲に漸やく窮境より脱出する事を得たり然りと雖之が爲一時當地燐寸業者をして危惧の念を抱かしむるに至りたるは疑を容れず爾來學生等は排日の高潮時を利用して時々商民を煽動して排日を強ひ其都度渺なからざる打撃を蒙りつゝありしが最近に至り漸く平靜に歸し商民亦彼等の狂暴を嫌忌し漸次商況の好化を見つゝあり即ち別表の示す處によりて考ふるに毎年排日の最も激烈なるは六七兩月にして學生團が主に夏期休暇を利用して活動せるを知る青島は濟南に亞ぐ重要消化市場にして膠州卽墨の二縣並に兩縣の背後一帯の地を控へ侮るべからざる消化力を有すとせられ日貨排斥當時に於て毫も彼等の迫害を蒙むる事無く取引の安全を確保せられたるは此一小圈内に過ぎざりしは遺憾なり青島に亞ぎて有力なるは博山地方なり同地は有名なる博山炭坑の所在地にして邦人の茲に投資せるもの多く自然日支人間の交情濃密を加へ日支親善を具體化し來れる觀ありて漸次燐寸消化の盛況を迎へ昨年來毎月六七十噸(汽車噸)

より多きは百噸以上の輸送を見るに至れり然れど昨年六七月の頃排日の魔手は茲にも現はれて切りに學生商民の煽動威嚇に助め日貨不買正金票使用禁止等を強制し彼我の商情を疎漏せしが幾莫もなく霧消し同十一月の如き百二十五噸一の到を見るに至れり蓋し沿線各驛中最も被害の寡少なりし所なり其に次ぎて濰縣坊子岳山高密張店等あるも何れも一ヶ年三四十噸より六七十噸を消化し得るに過ぎず周村は從來濟南に亞ぐ燐寸の消化市場たりしが往年革命の亂に遇ひて市場荒廢し再び濟南に呼應して排日に助めたる結果彼我の商況亦前日の如くならずして年々衰頹を現はしつゝあるは遺憾なり濰縣及青洲は燐寸消化市場として沿線各驛中相當頭角を現はし居たりしも兩地方工場の開設と共に衰退し只不足補給として別表の輸送貨を見たるに過ぎず今青島より發送せる燐寸の各驛到着數量を示せば左の如し(單位噸數量は汽車噸に依り六箱を以て一噸とす)

自大正八年八月 三驛(青島大港埠頭)發送貨物到着驛別
至同 九年七月

	八月	九月	十月	十一月	十二月	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	計
藍村	三	三	〇	〇	〇	三	一	一	〇	〇	〇	一	一
膠州	三	〇	〇	〇	〇	一	一	一	〇	〇	〇	一	一
高密	三	三	一	一	一	一	一	一	〇	〇	〇	一	一
岳山	一	一	一	一	一	一	一	一	〇	〇	〇	一	一
坊子	〇	一	一	一	一	一	一	一	〇	〇	〇	一	一
濰縣	〇	一	一	一	一	一	一	一	〇	〇	〇	一	一
周村	〇	一	一	一	一	一	一	一	〇	〇	〇	一	一
博山	〇	一	一	一	一	一	一	一	〇	〇	〇	一	一
濟南	〇	一	一	一	一	一	一	一	〇	〇	〇	一	一
其他	〇	一	一	一	一	一	一	一	〇	〇	〇	一	一
計	三	三	〇	〇	〇	三	一	一	〇	〇	〇	一	一

次に大正六年一月以來青島三驛より沿線及濟南に向け發送せる燐寸の數量を示せば左の如し

燐寸三聯發送數量月別每年比較表

月別	六年	七年	八年	九年
一	二六二	三〇四	三三三	三六九
二	三六二	三〇六	三三三	三六九
三	三六二	三〇六	三三三	三六九
四	三六二	三〇六	三三三	三六九
五	三六二	三〇六	三三三	三六九
六	三六二	三〇六	三三三	三六九
七	三六二	三〇六	三三三	三六九
八	三六二	三〇六	三三三	三六九
九	三六二	三〇六	三三三	三六九
十	三六二	三〇六	三三三	三六九
計	二一	二一	二一	二一

芝罘には支那人經營の膠東青蚨火柴公司ありて年約三千函の製産を爲し居れるが交通の關係上販路は其附近一帶に限りされ青島或は濟南等の燐寸業者とは殆んど没交渉の地位に立てりされど市況或は相場場の非常なる懸隔ある場合に於ては時に或は青島市場へ出廻る事無きにあらざれども異例となさる

△各工場使用燐寸原料に就て 青島が燐寸工場として同業者の注目を惹きたるは其氣候需給關係職工勞銀等種々の理由に基因せる事勿論なるも一は沿線及黃河流域地方一帶に散在せる白楊樹の豊富なるに著眼せしに外ならず本來燐寸の軸木として白楊樹の好適せるは論を俟たざる所なるが近來日本に於ける同樹の缺乏を來し一般樺木を使用し相當成績を收め來れるも當地の燐寸加工上山東産白楊樹を使用する事を得ば原料安價供給の途開かるゝのみならず日本輸入品に比し遙かに優良品を製出し得らるゝ考へにて多大の希望を囑せられたるものなりしが此期待は實験により見事に裏切らるゝに至れり即ち山東産の白楊樹は廣漠なる部分に散在せるものなるを以て日本樺木の如く深林よ

り伐採するのとは異なり之が運搬勞力等に多大の費用を要し甚だ敷價格の相異なるのみならず道路の不完全なる交通の不便なる漸次需給の圓滑を缺ぎ其品質も亦日本樺木に比するに尙劣等なりしを以て燐寸原料の大部分を占めたる軸木は之を山東地方に得るの計畫は遂に水泡に歸するに至れり爾來當地製造家は或は刻みたる軸木を輸入し或は北海道より直接樺木原木を輸入して加工せしが最近に至りては各工場共全部製軸機を据付け日本樺木を輸入して加工使用するに至れり次に小箱材料木地の如きも當分日本以外の他の方面より供給さるゝ見込立たず殊に日本には舊來の工場ありて其技に熟達し一方原料木の供給狀態より見るも新たに山東に工場を起し製作するよりは遙かに安價に供給し得らるゝの地位にあり藥品は現在其凡てを日本に仰ぎつゝありて一部外國品の輸入せらるゝ者無きに非ざるも悉く日本商人の手を通じて當地に輸入せられつゝあるは青島に專問の原料商無く殊に當地燐寸工場の小資本主が多く神戸大阪地方の燐寸業者たる事等大に之が原因を爲せり故に將來例令青島に外商の勢力を移植し原料藥品の直接取引を開始する事ありとするも小箱材料及び軸木の如きは到底日本の手を離れて他より供給し得らるゝ見込み無きを以て藥品と雖ども多くは從來の取引系統により日本輸入の有利を誘ふべく外商と雖ども之等の事情を無視して競争的態度に出づる等の事は豫想し得られざる所なり故に將來例令奧地に於て支那人工場の増加を見る事ありとするも原料は依然日本を通じて輸入せらるゝの狀態を持続すべく日本は之等の諸工場に對し原料供給國として重要地位を占むるに至るべし

△青島市況概況（大正九年）

十一月、福州事件以來濟南を中心として排日熱再燃せる爲め排

斥運動益旺盛を極め同地方一體の商談全く閉塞し僅かに少許の地賣により消化の途を講じつゝある際爲替相場を利用し輸入せられたる日本燐寸の安値に押されて各工場の堆貨三千餘噸に達し市況益不味を呈し青島物銀一元五十錢日本物約二兩の暴落を見るに至れり

二月、舊年末年始を控へて大口取引全然行はれざれど小口商内は相當の數量を示し年明けと共に好況に推移せる日本物は内地相場暴騰の爲め當地市況と不出合姿にあれど一、二ヶ月前の契約に係る安値品の入荷ありて相當の賣行を示せり當地工場製品は青島燐寸焼失後生産頓に減少せる一方小口商内滿腹の姿なれば市中在荷の見るべき無きも濟南方面の商狀近く一轉機を劃すべき見込にて相場底強日本物二十五兩地物銀三十九元二十錢見當を保合へり

三月、内地金融逼迫と爲替安の關係上輸入燐寸は本月を通じて其姿を絶つに至りたるが當地製品は却而好況を迎へたるも青島燐寸工場恢復と共に現在の市況に對する生産過剰を氣支ひ各製造家は極力自家製品を賣急ぎ現金に換ゆるの策を採り場合によりては投賣の意向をも有せる爲市況頗る軟調に傾き月末三十九元と下押せるが實需筋一順買付を了りたると金融逼迫の爲め大口荷動き無く相場は漸落步調を辿り支那商も目先の安値を狙ひ居る一方製造家の賣あせりと相俟て市況益不味を呈せり

四月、日本物は過般來の金融硬塞と對支爲替惡化の影響を受け全然輸入不能の狀態に陥りたるが當地も本年は奥地一帶旱魃に遭ひ農作物の不作に氣を腐らせたる爲か更に買氣無く相場も月始四十一元より月末三十八元八十錢と漸落せるも尙奥地客筋の乗出し無く三工場の堆貨約二千餘噸に達するの狀態なりしが

三社は此際相互間の競争を避け賣値の維持を計らん爲工場渡銀四十五元と協定相場を發表せる爲先行氣配益混沌として端睨すべからざるものあり

五月、三社の自家製品賣價の協定引上を斷行せるは聊か輕忽に失せし嫌あり折柄金融逼迫と世界的不景氣の爲めさらだに軟弱なる氣配を益惡化せしめて更に商内無く本邦斯界に於ても弗々製造家方面の投賣物現はれたるに怖れを爲し先物手持を爲すものなく三工場共一齊に休業を斷行するに至れり爾來銀價の漸落は益々當地の製品を不利の商狀に陥らしめ當地の三社は更に五十三元と協定相場を引上たる爲め幾分夏枯時期の關係もありて益々市況を惡化せしめしが氣敏なる支那商筋は此機に乗じ輸入安物の買占に著手し相場も一箱二十五兩見當より遽かに二十九兩と反撥せるも之とて一時的反響に過ぎず僅かにストック物の荷捌を見せたるのみ市況頗る閑散を呈せり

六月、前月當地製造品が協定の上五十三元の高値を發表するや需要筋は何れも歩を轉じて日本大連方面の投賣物に向つて買進み大連渡銀四十三元五十錢より四十七元見當の安値物約千五百噸の輸入を見同時に濟南市場には天津製品青島市場には芝罘製品の流れを見茲に三社は一大打撃を蒙むるに至れり相場は月初當地製品五十三元輸入物二十八兩五匁を唱へしも協定相場崩れと共に全月を通じて下押一方にして月末遂に地物四十二元輸入物二十四兩五匁と暴落し尙目先の軟調を現はせり

七月、曩に當地の三社が協定相場により自繩自縛的に賣足を制限せしより當地の燐寸商は全部安値輸入品に走り本月中日奉及大連等より約千五六百噸の輸入を見るに至れるを以て三社の態度は俄然一變し輸入品との對抗上相當安値にて手持を賣出む

たるが依然荷捌け捗々しからず相場も輸入物雜牌月始二十四兩五匁より漸騰月末二十六兩を呼び輸入に従て消化せらるゝの盛況を示せる一方當地製品は月始安平包銀三十九元より月末三十七元と漸落尙二千五百餘噸の堆貨を有せるの窮狀を示せり

△青島燐寸工業の將來 支那内地に於ける燐寸製造業が從來燐寸の供給國たりし日本の其れに比し非常に有利にして將來益々發展の機運を有することは前述の如くなると同時に青島に於ける燐寸工業の將來も亦多幸なるべきは疑を容れざる所なり然るに近年事業の好調に乗じ燐寸工業の企畫せらるゝもの相繼て起り既に青島に於て四燐寸工場一製軸工場を有せるにも拘らず尙濟南に振業公司あり沿線城陽、青洲、濰縣等各一工場ありて其生産年額實に九萬餘噸の多きに上り漸く生産過剰を告ぐるの時代に到達せり一方山東省内に於ける燐寸消化の現狀に就て考ふるに八萬噸の消化力を有せりと認められたるは大正二年頃の事にして爾來逐年増加の趨勢を示し今日に於ける省内消化實力は八萬五千噸乃至九萬噸の間に在りと見るを當れりとす此實際需要額に對し既に省内各工場に於て九萬噸以上の生産力を有せるにも拘らず天津方面より約一萬五千噸南直隸方面より約三千噸の移入貨ありて省内工場（主として青島）は勢其生産減縮を餘儀なくせしめられつゝあるの實情に在り今現在省内九萬噸の需要燐寸は如何なる方面より供給せられつゝあるかを見るに即ち

青島輸入燐寸 一六、〇〇〇

青島各工場より 二六、〇〇〇 〔内三七〇〇 濟南及沿線ニ輸送
一五〇〇〇 青島及附近ニ帶〕

濟南振興公司より 二〇、〇〇〇 一日生産高七十噸

省内小工場製品 一〇、〇〇〇 泊頭鎮、濰縣、青州、芝罘、城陽の五工場

（五工場）

天津より移入 一五、〇〇〇 排日高潮時は以上の移入あり
南宮趙州曹州より移入 三、〇〇〇

計

九〇、〇〇〇

前記の如くなりとすれば青島燐寸四工場に於て年六萬噸の製産力を有せるにも拘らず漸く二萬六千噸の生産を爲すに過ぎずして三萬四千噸の作業短縮を實行しつゝあるを知るを得べし一時排日の高潮時に於て邦人工場に及ぼせる被害程度は頗る激甚なるものあり各工場共殆んど作業休止の狀態に在りしが青島の燐寸工業は全部邦人の經營に屬するを以て其都度學生等が攻撃の的となり非常の壓迫を蒙りたる一方與地支那人燐寸業者に好機を與へたるものにして彼等は此機會に乗じ邦人工場製品を排して自家製品の販路を擴張し奇利を博せんとして成功し現に青島附近城陽驛に於ける支那人工場新設の如き實際排日の副産物として好個の例證たり與地支那人工場勃興の如きも全く之に類するもの尠なからず斯くして生産減縮を強ひられつゝある青島燐寸の將來を觀察するに當り先輸入方面より一瞥せんに從來日本より輸入せられつゝある黃燐々寸は支那内地企業の旺盛と共に次第に其姿を没するに至るべきは前述の如くにして殊に日本はベルン條約に調印せる關係上大正十一年以降國內に於て黃燐々寸の製造を廢止するに至るべきは明かなるを以て從來の青島輸入燐寸は之を青島工場製作品に俟たざるべからざる事情に在りと雖も青島燐寸としては尙一萬八千餘噸の過剰を算するを以て此過剰額に對しては勢各社の從業短縮を強要すべく天津方面の事情も亦現在に於ては生産過剰に苦しみつゝある事後掲の如くにして上海方面は與地に膨大なる黃燐消化市場を控へ從來尠なからざる輸入を呼びたりし關係上青島燐寸の消化地として

相當餘裕の存するが如く想像せらるゝも現在上海には四個の安全工場を有し安全製造の傍ら僅かに黃燐の製造を試みつゝあるに過ぎずして奥地需要の大部分は奥地工場製品により供給せらるゝの狀態に在り長江筋一帶に於ける燐寸工場發展せること豫想外にして支那燐寸工業上最古の歴史を有し漸次輸入を減退せしめつゝあり此方面は需要の膨大なる丈け輸出の餘地有りとするも之を當港より輸出するは原料及製品に對し二重に關稅を負擔する事となり換算引合はさるのみならず文化の進むに従ひ漸次黃燐より安全に移りつゝあれば例令青島輸出燐寸か戻稅等の方法により輸出可能となるも餘り多きを望み難かるべし然るに獨り大連市場に於ては金建製品を取扱ふ關係上銀價の高低在荷の厚薄によりては或は輸出の餘地無きに非ざるか從來の狀態に見るに堆質を控ゆるは常に大連市場にして青島は其が爲却て大連安物の輸入を呼び當地製品の市價を下向せしめたるに過ぎず故に青島燐寸の輸移出は變態的事情の現はれざる限り將來と雖ども或は望み難き事なるべしを觀察せらる

次に需要方面を觀察するに青島燐寸の唯一の消化市場として重要視せられたる濟南市場に於ては同地振業公司製品の外各種移入燐寸の競争激甚にして青島燐寸は邦人工場製品たるの故を以て排日以來甚しく其の勢力を失墜し昔日の面影なく頗る悲境を辿りしが近頃に至り稍々恢復せらるゝに至れり現在濟南市場に於ける青島燐寸の競争者としては泊頭鎮に永華火柴公司ありて一日十五噸の生産力を有し濟南市場に於ては侮るべからざる勢力を占め其の他南宮、趙州、曹州の各工場より大連河の便により濟南市場に進出するものありて之等は青島燐寸に對する強敵たり天津には現在東亞燐寸(日人經營)北洋火柴第一第二工場華昌

火柴工場、中華燐寸工場(日人)等ありて年約七萬二千噸の製産力を有せるが其消化力は漸く五萬餘噸に過ぎずして二萬餘噸の過剩を生じ此過剩燐寸は主として大連河の運賃安値を利用して南下し直隸の一部及山東省の西部に出て青島燐寸及其他の諸品と激烈なる競争を開始し販路の擴張に努力しつゝあり過般排日の勃發と共に青島燐寸の終熄せるに乗じて濟南市場を蹂躪し遂に南方徐州に迄其羽翼延ばし勢侮る可からず將來青島燐寸の最大強敵として振業製品と共に大に注目せらるべき一勢力たり之等諸品の間に介在せる青島燐寸は其品質の優良を楯として奮闘し大に販路の擴張に努力する處在りたるも排日の魔手に妨げられて空しく商機を逸し敵に好餌を與へたるは一再にして止まらず濟南市場に於ける青島燐寸は如上の關係上其成績餘り振はずと雖ども其奥地には直隸河南山西地方の如き膨大なる需要地帯を控へ其需要程度計り知る可からず殊に同地方に於ける燐寸業は未だ長江筋の如き發展を見ず却て長江筋より輸入せられつゝあるの狀況にあるを以て此方面に向つては將來充分開拓の餘地を存せる事疑を容れざる所なり此時に當り四國借款契約により日本が濟順線の布設權を喪失せるは頗る遺憾の事なれども濟南を中心として大連河及黃河の水運あり小清運河あり少しく奥に進みて京漢線あるに於ては努力如何によりては或は豫想外の好成绩を挙げ得べきを信す現に天津燐寸が其羽翼を山東の西部一帶に延ばして徐州に及べるに見るも青島製品の販路が濟南市場に局限せられつゝあるは寧ろ不可思議にして畢竟排日の影響に外ならず若し青島燐寸が優良品として其聲價を一般市場に認識せらるゝに於ては例令排日により一時的禍害を蒙むる事ありとするも經濟上の原則により惡貨は自然淘汰せられて結局優良品

製造工場の勝利に歸するに至るべきは明かなるを以て將來青島燐寸の繁榮策としては是非共此難關を突破し其販路開拓の途を講ずるに勗むるを最善の方法なりと信ず然れども此順境を開拓する迄は尙少なからざる日月と多大の努力を要すべきも既に輸出方面の事情前述の如しとせば奥地販路の開拓は蓋し吃緊の事たるべし翻つて想ふに將來排日或は其他の機會を捉へて奥地々方に於ける燐寸業の勃興を促がし支那人工場の頻出を見る事ありと假定するも之等工場に使用せらるべき原料は全部日本に之を需め青島を通じて輸送せらるべきものにして上海及香港方面より銀貨にて原料を仕入移入するは事情之を許さるゝものあるは青島燐寸業者に採り頗る有利なるものにして結局青島としては原料を其儘奥地へ供給するか或は青島に於て製品として輸送するかの問題に過ぎず現在の狀態より押して考ふるに高價なる運賃を支拂ひ原料の儘奥地に輸送するは自然製品の賣價を不廉ならしむるものにして寧ろ當地に於て製造する方遙かに利便なるものあり此點より見るも奥地工場の勃興により青島燐寸工業を脅威せむることは豫想する能わざるなり



資 料

支 那 の 石 炭

嶧 縣 炭 坑

勞働及採炭費用

(一) 請負採炭法 請負採炭は毎車の重量三分の一噸を銀十仙とし鑿進六尺高さ七尺の炭卷一尺を以て三十仙とす普通一組の坑夫四五人にして二十四時間に五噸乃至七噸を出炭し此一人割一噸二分五厘の採炭力を有する割合なり

坑夫頭三十一名にして一工頭に坑夫五十名乃至百名を使役し合計二三千人あり、大井の作業を晝夜二班に分ち土井は晝夜僅に一班なり該處の坑夫は頗る勞働に堪へ年中休業する事絶わてなし、礦の内外作業を三種に分ち採炭者は計算法、掘石者は尺度法、其他一切の雜役に從事する者は悉く日給なり、大井の坑夫は月末勘定にして土井は日給、採炭及石瓦工等も日給にて銅幣三十乃至銀四十仙等にして不等なり、而て推車夫は日給銅貨二十五枚なり、工夫にして業務により負傷等をなしたるものに對しては大錢百吊文を撫恤するものとす、次に職員は俸給は正經理月俸八百元副經理六百元技師四百元炭礦師三名各二百四十元此外鐵道及機器廠技師六百元乃至二百四十元其他最高技師長は普通一千元以下なり、全礦員約七十餘名、陸上工夫二千餘人坑内工夫約三千餘人は等に要する總ての經費、俸給額約一萬五千元内外なり職員執務時間は午前七時三十分より午前十一時三十分午前一時より同五時三十分迄とす而して公司の經常及臨時費合

計平均一ヶ月四萬餘元なり

(二) 採炭一噸の費用次に採炭一噸に要する費用は獨逸技師コ
ーフマン氏の在職中の實費は四元三十八仙の巨額に上りしが支
那技師朱培元氏の任に當りて以來大井の採炭費用二元二十五仙
にして公司の諸費用を合計計算するも三元に充たざるに至れり
今左に一九一五年十月中中興公司の大井出炭量に割當てたる一
噸の費用は左の如し

費目	每噸費用
採炭費	〇、三六六
木料費	〇、三五七
各材料費	〇、一二七
坑内職員月給	〇、一五〇
坑内工金	〇、二九二
坑外職員日給	〇、〇五二
井土工金	〇、〇五七
添置器具費	〇、〇二五
修理費用	〇、〇六五
事務所費	〇、〇〇五
絞車鍋爐床費	〇、三〇五
通氣管各費	〇、〇五〇
豫備採炭費	〇、〇二九
電氣費	〇、三七一
合計	二、二四九

(備考) 十月分出炭は僅に五千七百二十六噸なり將來一日千
二百噸に達する時は一層其生産費に減少を來すべきは
明かなり

税釐金及販路

一噸を千六百八十斤とし採炭税庫銀一錢釐金五分輸出税は海
關に在りては毎噸庫平銀一錢運河にありて鈔關税を完納する時
は庫平一錢二分なるも不等なり現在新税によれば市價の千分の
十五を納付せしむる事を規定せられ礦區税は毎畝銀元三十仙未
採の土地は銀元五仙とす尙中興公司に課せらるるものを左に示
せば

礦產税每噸	銀一錢
輸出税	海關税 同 同一錢(海港より輸出)
鈔關税	同 同一錢二分五厘(運河等によるもの)
釐金税	同 到錢八十四文
次に運送費に就て一般を説明せんに津浦鐵道は毎噸一哩に付銀 元一厘なるが其主要驛に至る賃銀左の如し	
天津	三元九十九仙二
濟南	一元二十五仙八
浦口	一元九十二仙八
南京	一元九十二仙八
運河に依る一噸の運賃左の如し	
清江	一十仙
鎮江	二元二十仙

次に中興公司の石炭の販路に就て記述せんに本炭の販路は津浦
線、棗兒莊附近及運河流域隴海沿線及び長江沿岸等にして津浦
線の北方にては臨城、滕縣、鄒縣、兗州、曲阜、濟寧、泰安、
濟南、禹城、平原、德州及桑園等にして津浦線の南方にて韓莊
徐州、宿州、蚌牟及浦口等なり、又運河一帯地方鎮江、馬頭、

界首、流江、宿遷等にして棗兒莊臺兒莊間にては嶧縣泥溝、臺兒莊等なり又隴海沿線にては李莊揭崇、歸德、蘭封及開封等なりとす今是等地方の本炭分布状況を見るに左の如し

浦口渡約定

十五萬噸

濟南及津浦沿線

十萬噸

津浦鐵道

七萬噸

滬甯鐵道(自上海至南京)

七萬噸

大運河より鎮江に至るもの

六萬噸

臺棗鐵道沿線及大運河沿線

四萬噸

コークス用

三萬噸

山元消費

二萬噸

山元販賣

二萬噸

隴海鐵道(自徐州至鄭州)

一萬二千噸

中興公司の運搬は津浦支線に據り棗兒莊より臨城を経て津浦本線に合し浦口及濟南の南北西方面に達するものと棗兒莊より炭礦鐵道により臺兒莊に運び臺兒莊より大運河の舟運にて南方面及鎮江に至るものとの二あり昔は棗兒莊より臺兒莊迄牛馬車に積み臺兒莊にて大運河の舟に移し専ら運河を恃みて諸方の市場に搬出せしが臺莊鐵道の建設以來運炭の面目を一新せり臺兒莊は船車連絡地點にして運河沿岸に在り市場相當に繁營し榨油工場あり石炭は約二萬噸を消費す運河運炭船は六七十噸より二三十噸位迄の積載量を有し公司所有船及傭船を合し百餘隻あり北方は水淺く舟揖の便無きも南方は清江鎮江等に今尙盛に運炭す運河にて鎮江迄達するには日數約十五日を要するも何分津浦本線の貨車不足の爲め止むなく運河に出せり津浦線によるも運賃は同様なるを以て將來貨車の配給充分となれば津浦線によるを

得策とす津浦線なれば二三日を費して浦口に達するを得べし中興産炭の炭價は塊炭三元粉炭二元切込炭二元六角なり由元値段は棗兒莊渡六元五十仙津浦鐵道特約四元七十五仙上海倉渡値段は十二元見當なり即左の如く計算す

山元値段

二元九十五仙

津浦支線より浦口迄積出費

三元七十五仙

浦口積換諸掛り

二十仙

浦口より上海迄の運賃

四元二十仙

積換諸掛り

九十仙

上海倉渡原價

十二元

中興炭は燃料炭として最も良質なる事臨城炭に次ぎコークスに適し若し其供給に充分なるに至らば其販路は殆ど無限にして支那に於ける日本炭の一大勁敵なり

中興公司事業狀況一斑

中興公司が嶧縣炭坑を開辦する以前は支那人に依り經營せられ獨逸の山東經營と共に獨逸鑛山會社の合辦事業となり第一期第二期に採鑛計畫をなしたるも前清朝の末期支那の上下舉て利權回收熱に遭ひて獨逸は手を引き再び支那人の經營に歸し依て第三期計畫に入り棗兒莊台兒莊間の運炭鐵道を敷設し以て今日に及びたる梗概は既に沿革の部に述べたる所の如し而して米國は石炭界の好況と勢力扶植の見地より暗中飛躍を試むるに至り米人は此利源を窺ふに至り終に外資を以て擴張計畫に努力する事となり在漢米國楚興公司より借款し米國機械を購入し米人技師を招聘し益其擴張に努め四萬元を投じて通風車捲揚機の設定を完成せしめたり、當時(一九一七年七月)天津に於て株主總會を開き米國より技師長招聘の提議ありて戴經理は極力反對せし

も遂に招聘に決したる其内情は米國は豫め前年の中興公司の新株募集に當り漢口楚興公司をして應募せしめ前株と合して額面百二十萬元の株券を有するに至り同公司の經理徐榮廷は遂に中興公司の董事の位置を得該公司の資本金二百四十萬元に對し其半數を有する徐は有力なる發言權を得容易に其目的を達するを得たり、元來徐榮廷の背後には米國人の經營せる東方鑛務公司ありて中興公司が招聘せし米國技師長は楚興公司の推薦せるものにて同鑛を直に米國人の手に委したると等しき結果となれり然るに昨一九一八年米國技師は土匪の爲め擒となり大井及小井金十四窑は支那人技師朱言五其監督をなし其他の各坑は載經理其責に當り居り米國技師は土匪の手より脱したるも歸來せず嶧縣知事に於て地方治安の責を盡さざるを憤り同知事に對し十萬元の損害賠償を要求したり

礦區に在ては舊窰林立し或は停採又は填塞して大半溜水せしもの多きも、大井は棗兒莊に在りて地下炭層に達する迄の深さ七百尺、東北七百餘尺にして舊窰あり深さ約五百英尺なり是舊井最深の處とす

一九一五年一月大井底の石卷工事此窰底に達し燈火に觸れたる瓦斯は忽ち爆發し舊井の溜水炭層中の沿氣は忽ち噴溢して大井底の石卷中に充滿し死者四百五十餘人傷者二百餘人を出せり其原狀に回復せしむるに要したる日數二百數十日を費せり而して未だ該井南部の上端は尙危險なる所あり、現在該井出炭量一日五百餘噸にして此爆發に因る損害十七萬元なりしと云ふ

中興公司の資本に就ては同公司第一回の募集株即舊株八十萬兩第二次募集株二百二十萬兩合計三百萬兩にして一株の金額百兩計三萬株にして利子は官利一分現在同公司是毎年利益を見ずと

雖も株主に對する償還をなし營利所得を分に應じて配當しつつあり

次に實在資本額は五百二十萬元なるも實收額は二百三十餘萬元にして北洋憵商銀行より二百五十萬元を借入れ十箇年償還にして民國四年第一回の償還期なり利子は八厘にして此外中國、交通兩銀行より數十萬元の借人を爲し居れり

次に資金の用途及一般經營に就て云へば棗兒莊臺兒莊間の棗臺鐵道九十支里の敷設費約二百餘萬兩、大井用新式機械約四十萬兩、附屬電機及材料購入費五百數十萬元にして有體動產及不動產約三百萬元なり將來一日四千噸の出炭を得るに至らば毎年の損失高百數十萬元を消却し得べしと云ふ目下大井獨逸式堅坑の炭量一日一千噸支那式土井の五百餘噸合計一千五百噸にして近く大井の改正と山家林及陶家礦附近の購入地に於ける採炭を開始するに至らば其採炭量は一千六百噸以上に達すべき豫定なり近年炭價の昂騰と販路の擴張とは本公司の經濟上非常に有利なる關係に在るや勿論なり

「コマンワン」氏の報告

以上にて嶧縣炭坑の事情は細大之を記述し終れり今稍舊きに屬すれども一九一三年本礦の技師長たりしコマンワン氏の北京政府及獨逸政府に致せる報告の抄録を掲げて本節を終るべし

コ氏報告の概要、嶧縣區域内に於て最も炭層の著しきものは(1)大窰にして炭層厚く質又佳なり、(2)泥窰は質美にして其厚度は大窰に劣るが故に先づ大窰に全力を注ぎ次で泥窰に及ぶべし其餘の炭層は其厚薄と炭質は均しく大窰、泥窰に及ばざるを以て報告書に之を別記せず、炭層の部位は其秩序紊れず只新井の炭區に於て變相なる所三箇所あり其狀態を察するに關係頗る微少

にして營業の發達上差したる影響なし

棗兒莊區内の炭層は厚薄差ありて西南約五米突、東七米突井の深き所炭層漸厚にして大井開採の行路の炭層の厚さ九米突に達す而して岩層純潔にして岩石を含有せず、詳細に調査測量する所に據れば本井に於て採炭可能量は塊炭百分の七十にして今日迄其大窑開採以來瓦斯の爆發及炭粉の爆發ありしを聞かず炭酸は僅に舊井にあり炭は熱を生せず以て自らの火險なし斯の如き狀況なるを以て採掘作業甚安全なり大窑採掘炭のコークスは漢陽鋼鐵廠の分析及各種試驗報告に據れば、汽船鍋爐製造用に適當なりとの事なるも之を以て全礦炭のコークス品質劣等なりと言ふを得ざるは勿論なり、左もコークス製法は其燐の含有量の程度及製造の際に於ける加熱程度の如何によりて製品の優劣を生ずるは既知の事柄なるが其製品の優良を期し熔鐵廠甲に利用せらるゝ所のコークスを製出せざる可らず而して本公司のコークス製法は舊式に拘ると雖も筋長く質又堅にして外觀極めて良好なり先づ嶧縣コークスは支那炭界に於て第一位を占むる事勿論なりとす而して遠く米國に迄輸出するに至る販路を得る事將來本公司の發展如何により可能なりと斷言するものなり只積炭過多は宜しからず是れ時日を経る事久しきに涉れば油質消去し自蝕すべしこは其價格を低下せしむる所以なればなり現在開採する所は公司礦區の一部分にして嶧縣は支那の礦區中最良好なるものにして東西の長さ六十支里南北約二十支里にて新井は其最極東端に在り礦區内の地質研究の結果東西南三面は既に開採し盡し深淺の舊井林立し停止せるもの又は填塞せるものあり以て棗莊の礦區と比し今後の開採に對し考慮する所慎重なるを要す舊井は深さ三百尺新井は五百尺に至るを常とせり、廿八丈の

舊井は舊井中最も深きものなり深さ五百尺なるもの採炭多からず其餘の各井は均しく六百尺以上なるに徴して明かなり棗莊礦區は當に六百尺以上の深さの所を以て上下の界線となす界線上と雖も尙は炭量豊富なるを以て舊井の擴充せるは其止まる所知れざるの多數なるを見て知るを得べし、新井は西北より起り牛村に至る約三百米突又西北馬家園に至る千七百米突又直北三害廟に至る六百七十米突、東南大殷村に至る九百二十米突又、東南大王莊に至る三百五十米突より轉向東北方趙家莊に至る六百三十米突、又南向雷家村に至る二千米突又南に向て四百十米突該村の南端に至る、又四百二十米突關帝廟より轉じて西方八百五十米突にして新井の起點に至る即ち八千米突七九四〇（十五里面積）三百二十五才立方米突にして四千八百五十畝に當る煤炭層の厚さ平均五米突俯角二十度之を基礎として計算する炭量一千八百萬噸なり、而して六百尺以下深くなるに従ひ炭層愈厚く九米突に達するものあるを見る而して開採不能の炭量又少からず假りに百分の三中を不能採炭とし又地形の關係上兩河の下底又開採不能にして是等凡てを測量調査して計算せば大窑約三千五百萬、泥窑約四千萬合計七千五百萬噸にして七十二年の採炭をなし得る譯なり、又泥溝の南方に尙渣子基子石の二層あるも未だ測量せず云々

其他の諸炭坑

前數節に於て述べ來れる所は坊子炭坑、淄川炭坑、博山炭坑、章邱炭坑、嶧縣炭坑等の各著名炭田概況にして尙此他に山東各地に數多の諸煤田の分布せらるゝものありと雖も今之が精細なる資料を缺くを以て是等の事情に就ては追て調査資料の蒐集を待て記す事とし此には山東の東西兩部に於ける前項記述以外の

諸炭坑を一括して掲げ以て山東省の部を終る事とすべし

山東省東部

(一) 芝罘附近の炭坑 芝罘の西福山縣々城の南約十餘支里猪山(考子山)には炭層露頭様のもの所々に散亂し降雨等に際し山下に滲出する水面に往々油を浮べ地中石炭を埋藏すべしとの説より宣統元年春即墨縣人賴某等三十餘名附近にて建築用石材採掘中地表下十餘丈にして炭層を發見し試採積んで山を成せるが塊炭多く其質良好なりとの事なりしも不明住民風水説を信じて採掘を悦ばず爲に其後何等の報に接せず

(二) 登州府附近炭坑 登州府城と黃縣の中間を流るる黃水河を挟み夾炭層を分布し文峯頂附近の發育最も良好なるも何等稼行の見るべきものなし

(三) 棲霞縣附近炭坑 登州府棲霞縣界縣城の東南玉皇山麓徐家店に石炭を産し附近の住民之を採掘し鍛工用として供給し來りたるが去る光緒三十三年李少梧董鳳珂の二氏踏査の結果土法大規模採掘の議成り資本として銀一萬二千元を募集せり其後報を得ず

(四) 膠州附近炭坑 萊州府膠州の北約三十支里艾山に石炭ありて又採炭計畫せるものありき

其他膠州の東門外附近及州城の南約六十支里膠州灣口西山附近にも石炭を産し會て採掘したる事ありと云ひ、又海陽縣附近にも石炭坑發見せられ嘗て獨人と支那人との合辦採掘計畫の企てられし事あり

山東省西部

(一) 博興縣附近炭坑 青州府博興縣南晤莊附近に石炭を産し張根龍及朱曉山の兩氏之が採掘をなせるが會て獨華煤礦公司よ

り同公司礦區内の抗議あり山東勸業道及濟南府駐在獨逸領事との間に屢々交渉を重ねたる結果實地踏査を経て重複せざるものと決せり

(二) 莒州附近炭坑 莒州の西南約二十五支里沂州府より東北約一百支里楊家莊土山莊地方に石炭を産し開採を試みられしも常に資金伴はず中絶し來れるが宣統元年該地の紳商管象履等主となり廣く資金を募集し開採を企てたるも成らず

(三) 滕縣附近炭坑 兗州府滕縣の西々北二十五支里嶧縣炭坑棗兒莊より西北約百三十支里蘆山店附近に炭坑あり光緒三十四年張臺出なるもの我約百二十六町歩の鑛區を得資本銀三萬兩を投じ土法採掘しつゝあり炭質は嶧縣炭坑に類似せり

(四) 鳳凰蛋炭坑 嶧縣炭坑を東に距る百五十支里沂嶧炭田東部蘭山縣沂州府附近に開採せる支那式土法炭坑を一括せるものにして合して一日六七十噸の出炭あり其主なるものを鳳凰蛋坑紅土店とす

鳳凰蛋炭坑は沂州府城の西南約三十五支里傅家莊の南鳳凰山の北に在り一に傅家莊炭坑と云ふ、往年より地方住民が土法採掘したるものを去る光緒三十三年時の知府李叔堅氏専ら斡旋し半官半民の開益煤鑛公司の經營に改め同時に排水及運炭用として幼稚なる機械を備へ兎も角漢洋折衷の實を擧げ目下一日四五十噸を出せるものにして沂州府炭坑の主要をなせり、炭層三枚にして其質堅緻なる瀝靑炭に屬し蒸汽冶金及一般家事用として歡迎せらる販路は附近及沂水を運河流域に出すものにして山元炭價は銀四弗五十仙乃至五弗なり

(五) 紅土店炭坑 府城の西約十五支里に在り現時は僅かに三四人の土人姑息掘に従事し見るべき出炭なきも古來より稼行を

續けたる地區なるを以て一般に其名を知られ炭層各三枚あり縣城の西南一帯には炭層存在す基盤は石炭岩にて上に夾炭層あり東に十數度の傾斜をなす五反位のものなり尙左記數箇所にも石炭を産すと謂ふ

長山縣	滋窪村	掖縣	括婁山
福山縣	魏家壩	平家州	文文山
安邱縣	李家樓	諸城縣	韓家溝
膠州	孟家屯	諸興縣	南晤莊
棲霞縣	王皇山	昌樂縣	房子山
萊蕪縣	萊蕪炭	昌邑縣	景山崑崙

山西の石炭

第一節 概論

亞細亞は石炭紀以前に於ては南北二大陸及其間二海より成り北はアンガラランド大陸と云び南はゴンドワナランド大陸と云ふ此二大陸の間を石炭紀の大海と爲す、今の支那本部及新疆西藏蒙古等の大部分を占む其後海底漸く海面に露出し中世代末に至りて漸く乾涸す而して支那の地質組織は略ぼ具備したり新生代の第三第四紀に至りて支那全部は既に諸海面に露はれ其間幾多の變化を経て山岳谿谷を構成せり第三紀の時に當り火山作用頗る激甚遂に巨大の山系を成し内地の洪積沖積二地層は之に因て生出す故に石炭紀系の支那に在るや其理正に廣布たるべき理なり蓋し支那は原アンガラ、ゴンドワナ兩大陸間の海底にして地質的構成は初め石炭岩層を爲し次で砂土沈積す石炭紀時代には植物繁茂し隱花植物は到る處鬱蒼たる森林をなせり其後幾多の變遷を経て乃ち炭層を成すに至る此れ石炭源なり是等の炭田は多く兩大陸の沿岸に存在す、今の直隸山西陝西河南（アンガラ

大陸に屬す）雲南貴州、四川（ゴンドワナ大陸に屬す）の諸省是なり唯支那の炭田は古生代に構成されたるものを除けば多くは中世代岩層に係る者なり山西大同府の石炭は其例なり

第一 地勢、山西の面積五萬五千平方哩地勢甚一致せず東南は山脈聳起して燕豫平原の上に突出し其西は黃河の峽谷之が境界を爲し北は漸く蒙古の草野を現して遊牧の地を爲せり全省は山脈横互し概ね東北より西南に走れり其間稀に灌木あり森林鮮少荒蕪不毛の地と爲す然れども山脈の間には肥沃の原野ありて耕作に適せり其大なるものは太原府の高原と爲す省會此處に在り（北緯三十七度五十二分、東經百十二度二十四分）南北約長八十哩東西二大山脈夾峙し相距る事約二十五哩省垣を距る事東北約三十哩の地は山谷畫の如く再壁石灰岩垂立し汾水此より發源して全原其灌溉の利を受け居れり

第二 黃土、山西地面は概ね此種の土壤に係る其色棕黃にして其實疎鬆なり溪流の經る所多く陡壁を成し高くは數百呎に達するものあり洪水兩岸に侵蝕して土壤中流に游積し遂に河道を遷移せしむるに至れり、リヒトホーヘン氏曰く黃土は中部亞細亞地方より吹來る細砂塵の堆積して成る者而して粘土、砂礫、炭化鈣を含有し及其他に鹽分の物質を帶べり其の色黃なるは鐵分の含有するが故なりと其積成より之を觀れば肥沃にして耕作に適するを知るべし黃土の上に間間古火山流出の石塊あり即ち雪花岩是なり（井陘の西南に雪花山あり故に名づく）山西省の道路は平時皆軌轍あり洪水の時或は洶沼あり或は溪澗となる冬季に至れば朔風黃砂を飛揚して天際に瀰漫す其淒涼たる景象は人の夙知する所とす

第三 地質、山西地質の特性を略記せば左の如し

系名 年代 主要岩石

五臺系

Precambrian紀

片麻岩
片麻岩
片麻岩
大理岩

兗州系

Cambrian紀

頁岩
頁岩
頁岩

冀州系

Ordovicianperiod紀

石炭岩
石炭岩

炭層系

石炭紀

燧石質石炭岩
砂岩及頁岩
黃棕色砂岩

黃土

第四紀

(一) 五臺系 獨人リヒトホーヘン米人ウキルス兩氏は山西ブシカンブリアン層系を五臺系と名けたり此系に屬する岩石には片麻岩、綠色岩、大理石等あり花岡岩は其中に噴入す此系の岩層は多く省の東北に見ゆ獲鹿縣の南、井陘縣の北には皆之あり高度一萬呎の五臺山は實に此系の模樣を具す是れ蓋し五臺系の名稱の由來する所なり山は太原府の北に在り相距る事百哩山勢東北より西南に向て走れり釋迦尊の聖地と爲す其他に霍山風雲山等あり其山勢は五臺山と同じ其層の相同じからざるは唯五臺山の上に於て間々Cambrian Ordovician 兩紀岩層覆はるゝを見る是れ其異る點なり太原平陽の西にも五臺系岩層を見ることあり

(二) 兗州系此系の岩層は Cambrian 紀に屬す獨人リ氏治て之を山東に於て發見す故に支那南北に共有すと斷定されたり其主要岩石は灰石と爲す、砂粒多くして粒狀を呈せり燒灰に適せず中間に紅色頁岩あり此岩層は山西各地に廣布され獲鹿縣の南、

井陘縣の北にも皆是あり

(三) 冀州系冀州系の上を冀州系と爲すウキルスの命名する所なり今之を引用せり其岩石は Cambrian 紀の青色灰岩にして粒狀を呈せず質頗る純なり氏は此岩を石炭紀に屬すと稱せるもウキルス氏は之を Ordovician 紀に歸すべしと爲せり且皆支那北方に存在せず此灰岩の Ordovician 紀に屬する疑ひなきなり其上層を砂岩及頁岩に屬すとす、其中に岩層を含あり是又支那北部の石炭岩に屬せり故に支那北部に兗州、冀州兩系岩層の存在するは最も普通となす山西の山脈は多く是に由て構成せられ石炭系の酸壁は各地に散見して高數百呎に達するものあり

(四) 炭層系 ウキルスの言に據れば山西の炭層系は石炭系に屬し米國産炭の最富區も相同じと是れ冀州系の上に在る所以なり然れども岩層は之を整合せず、此層系を構成する岩石に就ては別に之を述べし即ち

甲、頁岩は瀝青の石炭岩中の燧石に夾れ耐火粘土にして彩色砂岩あり是等岩層中には多く炭鐵を含有せり

乙、紅砂岩及頁岩は粘土と相互に錯送す

以上擧ぐる所の各系は即是なり、ウキルスの説に基き確定誤りなきなり、若し某所の岩石冀州系以上の岩層に屬せずと爲さば必ず其下に炭層なきを知るべし是れ地質學と礦物學とは密接の關係あるを以て其贅言を詳にしたる所以なり

第四 炭田、山西の山は多く燕豫平原の上に突起す故に南部炭田は高く豫原を出づること二千呎乃至三千呎に達す全省には規則的且つ相互聯絡する山脈ありて概ね東北より延びて西南に向ふ炭層系は是に由て捲疊し而して巨大の山槽山鞍山脊を爲せり唯冀州系の青色灰炭を餘すのみ其上の石炭系は風雨の爲めに削

淨せられて餘す所なきなり郡山の間には地層斷裂して平谷を構成するあり而して石炭系は反て存留する者あり蓋し此地は風蝕水侵の作用甚だ微弱なりしが故にて井陘炭田の如きは即ち是なり炭田には大斷層三あり其二は西に向て下行し高さ五千呎に至る即ち風雪山霍山の二大山脈を成せり其一是洛山山脈を構成し東に向て下行し高さ三千呎に達す霍山の東には無煙炭田あり然れども是れ簡別して之を言ふに過ぎず實際上兩炭田に於て炭質變遷する所殊に甚だ多きなり

無煙炭田

(一) 層系　り氏曰り山西の無煙炭田は太原府より起り孟縣に至る其間或は斷絶する所あり即ち太原府南の晉城縣或は北都平定縣に在りて各一區劃を爲すが如き是なり其層序を分別すれば左の如し

甲、砂岩　層系中の最古なるものを砂岩と爲す厚さ五十呎乃至一百呎あり間々炭層及赤鐵鑛床と青石灰岩と相接觸する處あり或は小塊の赤鐵鑛ありて其質良好なりと雖も燐分甚だ多くしてバスボル溶煉法に適せず唯近來之を開採溶煉する者多きを見るに至れり

乙、燧石質石灰岩　此層は厚さ十呎乃至五十呎ある砂岩層の下に居り酸漿具類の花石を具ひ建築材料に適す人多く他燒石灰等に用ゆ

丙、砂石及頁岩　石灰岩の上は砂石及頁岩となす、二百呎乃至三百呎あり上層には耐火性の粘土を負ひ熔鐵鉗鍋及磁皿の製造に適す

丁、無煙炭岩　主要の無煙炭層は其の占むる所の面積甚だ廣く間々斷絶する所あり其下は百五十呎乃至三百呎に達す燧

石質石灰岩を含有し炭層の厚さ十二呎より三十呎に至る其中に薄層頁岩あり炭質頗る良好なり灰燼約百分の十を占む近頃晉城縣及平安縣一帶に開採する者甚だ多しと云ふ

戊、頁岩及砂岩　岩層の上には厚さ百呎乃至三百呎の頁岩及砂岩あり

己、黃棕色砂岩　無煙炭田の層系中最新なる者は黃棕色の砂岩粘土及び頁岩等と爲す晉城一帶其大部分は多く風蝕水侵の爲に削去せらる此作用の甚だ微なる處は其厚度一千呎に至るものあり

(二) 炭質の變遷晉城一帶の炭田は専ら無煙炭質に係るが臨城炭礦より道口に向ふ一綫は漸く無煙より有煙に變するあり此線以北も亦漸く無煙に變せり平定縣の炭は専ら無煙質に係る平定以西も亦漸く變遷を生ぜり壽陽縣の炭は有煙質なり、太原府の炭は亞煙炭質なり平定東北の井陘縣の其炭質は復變じて有煙質を爲せり是れ山西の炭質變遷の情況なり

有煙炭田

炭層の順序に孰て之を觀れば有煙炭田と無煙炭田とは相似たる所あり唯有煙炭田の炭層にして開採の價値を具有する者は燧石質を含有する石灰岩の下にあるのみ山西にて純粹の有煙炭を産出する礦區は北は寧武にして南は河津なり此二縣の炭質は有煙無煙を介在し太原の西或は亞無煙炭質を爲す河津、平遠、太原寧武等是有煙炭鐵礦及び耐火粘土を開採する要區なり

炭量　り氏の豫計に據れば山西省にて採掘し得らるべき無煙炭量は約六億三千萬噸にして有煙炭の量に至ては尙無煙炭の上を超過すべしと多數地質家の考證に待つも此說の確實なるを知るを得べし苟も世界の石炭消費率にして加増せざる以上僅に山西

一省の產出炭を以ても尙全世界二百餘年の用に供する事を得べく炭量の大なる實に驚くに堪へたり、と云ふべし

第五 採炭土法、山西の採炭場は各所に存在するも其產量を窺ふに一日僅か百噸を超過する者甚だ稀なり炭坑には堅坑あり斜坑あり亦僅に坑道なるものあれども蓋し之を利用するに頗る幼稚なり即ち其採炭したる炭は多く筐内に盛り之を木車の上に置きて後に曳出すなり、斜坑斜度は三十度乃至四十度の間にあり坑に踏段を作りて出入を便す炭は多く麻袋に盛りて之を擔ひ出す間々二人の肩に荷ひて運出することあり坑道は正方形にて每邊の長五呎乃至六呎を普通とす坑壁は不堅固の場所を除き多くは木板或は磚石を用ゐて壁と爲せり坑口には横軸轆を据ゆ直徑十五吋乃至五十吋ありて相等しからず毎回之を以て炭筐を捲揚ぐ其炭量約三百封度内外なり晉城に堅坑あり深さ三百呎に至る機械を應用して採炭する礦區は保晉公司を措て他に未だ見る所あらざるなり

山西の採炭法は頗る粗笨なるのみならず其需要も亦甚だ輕微なり故に採炭場附近は一噸に付賣價五角乃至一元五角太原城に至ては毎噸二元五角の安値を示せり工賃は頗る低廉なり概して左の標準によるを見る

職別 工 賃

監督工	二十元—三十元(月給)
機械匠	十元—十四元(同)
坑 夫	一角六分—二角五分(日給)
苦 力	一角二分—三角 (同)

第六 運輸、運炭には或は轎車を用ゆるものあれども多くは牡犢及び騾を用ゐて之を曳かしむ然れども是れ僅に道路平坦なる

處に就て言ふに過ぎず蓋し起伏不常の地に至ては駱駝及び騾を用ゐて之を運載するも間々手車を用ゆる者あり每車三百五十封度内外を運載べし鑛區附近は人畜羣集し其の光景頗る奇觀なり第七山西省は石炭に富む事支那各省中第一位に在り其蘊蓄する所頗る大なり今支那農商部の調査に係る一九一六年度の統計を見るに山西省と各省との出產額比較左の如し

山西省	二、五〇〇、〇〇〇	湖北省	一〇〇、〇〇〇
直隸省	二、一六〇、〇〇〇	黑龍江	一〇〇、〇〇〇
山東省	九三二、〇〇〇	陝西省	五〇、〇〇〇
湖南省	九三二、〇〇〇	廣東省	五〇、〇〇〇
江西省	八〇〇、〇〇〇	廣西省	五〇、〇〇〇
奉天省	五四〇、〇〇〇	安徽省	三〇、〇〇〇
四川省	三〇〇、〇〇〇	雲南省	三〇、〇〇〇
吉林省	二〇〇、〇〇〇	計	九、二七四、〇〇〇

合計九百二十七萬四千噸にして山西の出炭高は二百五十萬噸即ち支那總出炭高の三割六分九厘を占め居れり尙在支那人の一九一二年に調査したる支那各省の石炭產出高を見るに總計千五百萬米突噸にして中山西炭は二百八十六萬八千噸を占め是亦約三割の地位を占有す左の如し

山西省	二、八六八、〇〇〇噸	直隸省	二、七〇一、〇〇〇噸
奉天省	一、八〇五、〇〇〇	河南省	一、四六三、〇〇〇
湖南省	一、四六三、〇〇〇	山東省	一、一三〇、〇〇〇
四川省	一、〇〇〇、〇〇〇	江西省	九四九、〇〇〇
黑龍江省	二、三〇〇、〇〇〇	新彊省	六〇〇、〇〇〇
貴州省	一、〇〇〇、〇〇〇	陝西省	一〇〇、〇〇〇
福建省	一、〇〇〇、〇〇〇	雲南省	八六、〇〇〇
吉林省	四四〇、〇〇〇	江蘇省	五五、〇〇〇
甘肅省	二〇〇、〇〇〇	浙江省	二五、〇〇〇
廣東省	一、二〇〇、〇〇〇	安徽省	一〇、〇〇〇
廣西省	一〇、〇〇〇	湖北省	一〇、〇〇〇

山西省の石炭に豊富なる其鐵鑛の蘊蓄と相俟て其層頗る厚く苟くも其經營にして其法に適ひなば世界炭鑛界の牛耳を握る事左迄難からざるべしと雖も埋藏の豊富なる必ずしも實の富をなす

に至らず蓋し、山西の地たる水に乏しく能く汽罐の需要を充すに足らず鑿井せば或は給水さるべきも然れども其量の不足なると且つ汚濁甚しく到底化學作用を與ふるに非れば之を使用する能はざるなり雨量は毎年十二時乃至十六時ありて池を掘て之を蓄へば或は供給し得べきに似たれども唯雨時の水勢甚だ急にして之を蓄ふるに容易ならず幸に地下泉の富めるあり採礦の時之を利用し得べし又山西は木材に乏しく坑内支柱の大部分は木材を使用するが故に採礦場附近に樹木を植へ或は煉瓦を製して之に代ふるも可なり其他交通の滯礙は運輸上至大の不便を與へ其影響する所少からず故に正太鐵道と京漢鐵道の接續を完成せざる可らず即ち正太鐵道の軌條は京漢鐵道の夫の如く改築するを要す又山西幹線は南は永濟に達し北は庫倫に通じて西比利亞と相接續せしむるに於ては此石炭の販路は優に歐洲に擴張するを得べし又更に晉城より一線を敷設して南は京漢線に連ね北は京綏線に接續せしめば即ち山西の石炭は其運賃を輕減するを得て東南各省に向ひ廉價を以て供給するの便あるなり



貿易

青島貿易近況 (八月)

本月中埠頭輸出入貨物の數量を見るに其陸揚(輸入)は二萬六千三百九十噸五船積(輸出)は六萬四千四百八十噸一を示し前月を通じて夏枯期の閑散狀態を現はせり然れど之を昨年同月分と比較するに輸入に於ては却て二千百三十三噸二の増加を示し更に一月以降の累計を徴するに輸入貨は在りては一萬六千五百八噸九輸出貨に在りては十一萬五千五百五十四噸九の増加を爲せり今昨年同月分との比較を示せば左の如し(單位噸)

陸揚貨物	七月	八月	本年一月以降累計
船積	三六六四	三六六五	二四三七三
貨物	六三六三八	六四四〇二	六四六三八
計	八〇二五二	一〇一〇六六	九〇二九一

次に輸出入貨物の仕出仕向地別を見るに相變らず上海貿易の隆盛を語るものにして日本は八幡、徳山送り鐵礦、石炭並に各地積出原鹽一萬六千八百餘噸を除けば其他は微々たるものにして輸入は棉絲布の好況と木材の既約品積取並に需要期前に於ける石炭の移入増加を見る外日本輸入貨は一齊不振の商狀を呈せり

日本内地	本年	昨年
大阪	輸出 二六四七	輸入 二六三三
神戸	輸出 一五八二	輸入 二二九二
門司	輸出 四三三	輸入 六六二
横濱	輸出 五五〇五	輸入 六六七
徳島	輸出 五五〇一	輸入 三八七〇
和歌山	輸出 一五〇〇	輸入 一五九
八幡	輸出 一四四三〇	輸入 一
其他	輸出 二二九四	輸入 二五〇〇
朝鮮	輸出 二五〇〇	輸入 九〇二五
其外	輸出 一七七一	輸入 一

(九月)

△輸出品

	麥	棉	葉
稈	真		煙
田	花	草	
九月	三六	三二	一〇七
中	六〇	六二	六三
昨年九月			
中			
比較	△	○	○
(○增△減)	三二	四〇	三五

(九月)

△輸入品

[illegible]

は輸出不味の爲終熄し僅かに綿花、石炭、平菓、鍋、木桿等の
相當移出を示せり(單位擔)

△移入品

竹	二、三七〇本	大豆	七、五九九	白豆	二、六〇五	蘇豆	二、二六九	小麥	三、四、五五七	鮮蛋	二〇七、四五〇個	綠蛋	二五、五〇〇	鹽乾	三、五八三	麥乾	一、八二二
豆	二、二六〇本	白	二、二六〇	蘇	二、二六〇	小	三、四、五五七	鮮	二〇七、四五〇	綠	二五、五〇〇	鹽	三、五八三	麥	一、八二二		
豆	二、二六〇	白	二、二六〇	蘇	二、二六〇	小	三、四、五五七	鮮	二〇七、四五〇	綠	二五、五〇〇	鹽	三、五八三	麥	一、八二二		
豆	二、二六〇	白	二、二六〇	蘇	二、二六〇	小	三、四、五五七	鮮	二〇七、四五〇	綠	二五、五〇〇	鹽	三、五八三	麥	一、八二二		

△移出品

石炭	五、一四噸	棉花	七、六〇擔	梨	三〇、八〇九	鍋	三、一八
石	五、一四噸	花	七、六〇擔	梨	三〇、八〇九	鍋	三、一八
炭	五、一四噸		七、六〇擔		三〇、八〇九		三、一八

△港内輸送

鮮魚	九、二六、二八〇個	各種生油	一、四八六	鹽	一、一〇三
魚	九、二六、二八〇個	種	一、四八六		一、一〇三



海運及鐵道

青島出入船舶 (八月)

本月中の入港船舶(汽船)は八十三隻此登簿噸數九萬六千九噸出
港八十二隻八萬七千二百四十一噸にして入港卸荷二萬六千三百
九十噸五出港積荷六萬四千四百八十噸一を示せり更に之を一月
以降の累計を徴するに入港八百八十六隻九十二萬一千二百十九
噸出港八百八十三隻九十一萬二千九百九十九噸卸荷二十五萬九千
百二十六噸四積荷六十四萬一千九百九十二噸入に達し昨年に比
するに隻數に於て稍減退を示せるも登簿噸數に於ては遙かに増
加せるを見れば比較的大型船の就航を繁からしめたるに似たり

出入	本年八月中	昨年八月中	比
入	八、六六六	八、六六六	同
出	八、六六六	八、六六六	同
積	八、六六六	八、六六六	同
卸	八、六六六	八、六六六	同

更に本月中の入港船舶の仕出地別を示せば日本内地十七隻仁川
三隻大連二十三隻上海二十七隻芝罘四隻其他六隻香港一隻其他
外國二隻にして出港船舶仕向地は日本内地二十八隻仁川三隻其
他朝鮮一隻打狗一隻大連十六隻上海二十三隻其他四隻浦鹽一隻
其他の外國一隻なりとす

山鐵發送貨物 (九月)

本月中の山鐵輸送貨物は前年に比すれば四割近くの増進を示し
居れるは別表記載の如くにして就中石炭は上海市況の復活と需
要期前の荷動きにより「セメント」は山東洋灰の大連朝鮮方

鐵道輸送の統計に現はれたる大部分を占むるもの、由にて一方穀類唐黍高粱等の該地方に輸入さるゝもの亦最近激増しつゝありと云ふ今年九月中一車扱ひとして山鐵が輸送したる數量を前年度に比較對照すれば左の如し (噸數及頭數)

品名	本年度	前年度	増加數
小麥	三、四七四	二、六三三	四、〇九一
高粱	一、四三三	四、三三三	三、〇一六
豚	三、九一九	九、九三	四、九
馬	一、五四七	一	三、八九
及驢	九四	一	五、四七〇
○	八、二二	三、五三	四、六四一

以上の如くにして小麥は濟南に於ける製粉界の發展に伴ひ山鐵が割引を爲したるため海州方面よりのものを輸送せらるゝ筈なれ共高粱竝に黍類に至りては殆ど飢饉地向ふものゝ如く又家畜類中豚牛の如きは其の増加が直接飢饉地に關係あるべしとも思はれざるも驢及驢馬竝に馬に至りては全部該地方よりの移出と見て差支なかるべし彼の大正六年度に於て山東鐵道沿線張店以東の不作の爲め高粱約三萬噸を滿州より輸入したる例あるも本年は一般に滿州方面も作柄良好ならざる模様なれば今日の處滿洲方面よりの輸入は餘り増加せざる模様なりと

銀塊爲替相場 (九月)

◎銀塊 龍動市場は靜穩無爲常に五十九片前後を小往來したるも大陸諸國爲替相場就中獨貨一層低落の爲大陸筋よりの賣物引續き出現し大勢軟弱に傾けり、紐育市場に於ては支那筋の買注文弗々現はれ又米國政府は引續き銀塊買付け居れるも氣配弱含み九十三仙四分の一にて越月せり

◎爲替 市況沈滯輸出入貿易皆無の爲め爲替實需更に現はれず取引所開始以來同所に於ける金銀買取引のみ旺盛なりき相場は銀塊釘付相場を持續せるため變動少く至極單調無味本邦向百四十五圓見當を以て終始せり

◎金融 世界的不景氣の色彩益々濃厚にて一般人氣沮喪新規商買竝に事業殆んど行はれざるを以て金融業者は依然安全なる放資の途を得ず市中金融硬塞狀態は更に改善せられず而も取引所に於ける投機取引關係にて資金の需要切實なれば市中の金利は上騰の形勢に在り

商況 (十月)

◎綿糸布

△綿糸、先月來值頃弗々買氣を齎し來り市場稍恢復の曙光を認められたる矢先本月は中秋節後の最大需要期に當れると排日の緩和に従ひ奥地筋一齊買進み一方元地安の恩惠にて船便毎に多數の入荷を伴ひ近頃稀に見る盛況を極めしが中旬頃に至り日本に於ても内地需要増加と輸出筋買進みの爲め市場不振の病根を示せし滯貨も漸次減少し三品市場遽かに強調を呈したるが當地は銀塊安による爲替不利の爲め相場不出合となり實需方面も高値には買見送りたるより阪地の躍騰も大なる刺戟を與へず月末市況一吸の姿を呈せり

△綿布、月始頃手持筋は三品先行懸念と金融關係上全く採算を無視せる安値にて投賣を爲せる爲め是迄品薄と安値待とにて買控へたる實需筋は一齊に蹶起し買進み更に新規引合の色見わ二

時好勢を呈せしが阪地市場の復活と輸入爲替高にて安値賣物絶に實需筋も高値には買見送りの姿にして市況閑散裡に閱月せり

△綿糸相場

日	二十日	三十日
銀月 (十六手)	一四六五	一三五五
福面 (十六手)	一四二五	一三七五
助 (二十手)	一三四	一五
鳥 (二十手)	一三	一五

△綿布

丹菊九龍	組布	天竺	細綾
四	四五	三五	四三
四	三五	三五	四三

◎砂

糖

月始玖瑪市場の金融状態が米國銀行家の救済する處となりたる際糖業新組合組織計畫起りたる爲め今迄下落歩調を採り來れる玖瑪糖は遽かに強調を呈し相場も一時持直しを見たるが日本に於ける需要は分蜜糖よりは精製糖に傾き相當需要を喚起せる爲め日本糖相場は遽かに強調を呈し三四圓方上押せるも本來弱氣に支配せられたる糖界が海外の強氣材料に刺撃せられ一時的持直しを見たるは聊か變體とする處にして將して瓜哇新組合は不成立に終りしかは市場全く氣配腐され中旬下旬と漸落歩調を辿り玖瑪方面も亦大會社にして破産に類したるもありて海外市況は著しく軟調に傾きたるか日本は内地需要旺盛なりし爲め白糖を海外市場に送らざりしと同時に青島に於ける日本糖取引は日本製造家の態度により一方銀安の關係上相場不出合姿となり上旬僅かに五百俵程の市中手合出來たるのみにして在荷全く無く買手賣手共氣迷中本月を終れり太古物は先弱見込にて四溫半銀

二十元を割り賣出したるも日糖の減少を楯として弱氣ながら二十元四十錢(上旬)と値上げを爲し中旬更に八十錢迄引上げたるも競争者無ければ弗々賣行を見せ居れり

◎燐

寸

輸入燐寸は當地市況不味の爲め一時杜絶し本月も上半月中殆んど輸入を見ざりしが下半月に入りてより日本市場投資物現はれたれば支那商人は其を漁りて當市場に持込める爲め相場伸惱み益市場の不味を誘へり當地製品は銀安の關係上四十五元以上とならざれば採算引合はざるに市場の形勢前述の如くなれば輸入安物に押されて東魯は斷然製品を賣止形勢觀望に出でしが青島は金融關係上成行相場にて賣出しつゝあり月末輸入雜牌二十四兩青島燐寸製品安平包銀三十六元五十錢見當を稱へ居れり

◎白

米

新米出廻期に入りてより大阪期米は連日漸落の歩調を辿りて止まず其れに促されて當地の需要米たる鮮米も船便毎に下落し月始角丸赤一呎十五圓二十錢より月末十三圓三十錢と一圓九十錢見當の暴落を示せる爲益需要を喚起し夥だしき輸入を見るに至れり上海米は新米出廻期に於て例年相場の下押を見るを例とせるが本年は市中在荷潤澤なるにも拘らず本月中旬上物一袋銀十七元見當を保合鮮米角丸黒に比し僅かに六七十錢の値開きあるに過ぎざれば邦人の需要は悉く鮮米に傾き上海米は全く顧みられざる模様なり月末卸相場左の如し

鮮米	角丸赤	一呎	金二三・三〇
同	同	同	金一二・八〇
同	同	同	金一二・一〇

上海米 上等

一袋 銀一七、〇〇

◎花生油

漸く取引期節に入りたるも歐米市況の沈靜に従ひ日本内地更に買氣無く當市場も無氣力狀態を續けし爲め相場は月始現物十四元十三錢より十三元四十錢（七日）と漸落し先物の如きは殆んど聲を潜めたりしが廣東幫の買付に稍生氣付き十三日十四元六十錢迄持直し先行頗る強調を呈するに至れり現物は十四元五十錢見當にて全部廣東幫の手に買収せられ直接英方面に仕向けられたるを以て品薄と共に市場一層強調を加へ二十七日十五元と上押せるが茲を高値として漸落月末十四元五十錢見當を保合ひつゝ月を終れり本油は毎年日本市場を経由して歐米方面に積出さるゝを常とせしが本年に至り廣東幫の手により直接需要地向つて輸出せらるゝに至りたるは將來大に注目せらるべき現象なるべし

◎花生實

本年落花生の作柄は三割以上の豐作なるに拘らず財界不況の爲め更に買氣無く最近濟南市場に於て六元五十錢見當の賣買出來たる模様なるも歐米市況振はず内地亦氣乘薄にて相場はシフ神戸金九圓五十錢見當を唱へ到底引合見込立たず形勢觀望の姿にあり殊に本年は先年の失敗に鑑み先物取引に對し容易に手を下さず頗る慎重の態度を持し居れるが如し

◎桐材

阪地滯貨の一掃と共に本品輸出は漸次盛況を呈し本月に入りてより季節の關係上殊に積出しの増加を見たるが種類は概ね下

駄臺のみにして殊に上物の需要激増し相場は内地品薄と共に下物一割上物一割五分見當の上伸を見せしが當地に於ける上物の蒐集中々困難にして益相場の昂騰を促し神戸沖值天飛上物（下駄臺）金一圓三十五錢と高値を出し益斯界の活況を迎ふるに至れり當地月末相場は大港驛渡上物才銀二十錢見當を保合へり

◎石炭

△輸入炭 内地炭況益惡化したる爲大炭坑に在りても自然一二割方の作業短縮を行ひつゝあるの有様なる上時々生産費を無視せる投物現はれ相當の粉炭にして船乗五六圓見當の低値にて賣買せられつゝあり内地炭況既に斯の如くなるも輸入爲替不利の爲め日本及撫順炭の當地輸入は採算不可能の狀態となり久敷當地に姿を見せざりし開平炭の輸入を有利ならしむるに至れり
△山東炭 は日華協信公司及支那商により引續上海方面に輸出せられつゝあるも販賣地に於ては品質關係上必ずしも消化順調と云ひ難く日本市場に對しては輸出爲替有利となりたるも内地安物に押へられ涉々しき賣行を示さず然れども一般山東炭が爲替の變動に伴れ漸次活況を帶び來れるは事實にして殊にコークス原料炭に於て其傾向を發見するに至れり

◎鶏卵

輸出の活況に伴れ相場は日々漸騰月始十七八元を唱へしもの買聲高に勢を得て新大玉は六日遂に二十元臺を突破して二十元七八十錢と上押しせしが需要の旺盛に伴れ素人筋の買煽りにより更に暴騰し十一日遂に二十三元の高値を現出せるが高値に釣り込まれ奥地よりの出廻り旺盛を極めたれば聊荷支への氣味にて一時尠なからざる市中堆貨を見るに至れり其が爲め相場は貯藏

至難の關係上一氣に十八元五十錢(新大玉)と大暴落を演じ濟南物の如きは上物十二元見當迄慘落せしが品薄と共に漸次恢復し殊に月末に至り内地よりの注文殺倒せる爲め十八元臺より急に十九元五十錢と上放れせるも出廻り漸次減少し各店共買競の姿にして益相場の強調を誘へり

◎原 鹽

釜山、浦鹽方面への積出しにより稍持直したる原鹽も埠頭堆貨夥しき爲賣人氣旺盛にして相場伸惱み白上四元八九十錢を保合ひしが近く政府第二次納入命令の發布あるべしとの噂に市場睨り先行強氣配を示せしが月末に至り愈七千三十八萬餘斤の發令と共に相場は二三十錢方昂進し白上五元二十錢乙種四元十錢並三元六十錢と擡頭市況活氣を呈するに至れりされど各店共相當手持を爲せる上埠頭堆貨尙七萬餘噸を算し汽船回航の期近に至り充分選喰の餘裕あるを以て一般買急がす市況案外不活潑裡に閱月せり月末埠頭堆貨六萬六千二百噸内白二萬五千噸を算せり

青 島 要 錄

青 島 の 關 稅

獨逸は膠州灣租借後幾何も無く千九百十九年四月十九日を以て獨支の間に膠州灣稅關設置に關する協約二十箇條を締結し七月一日より之を實施せり、其協約要項次の如し

一、清國の條約上課すべき輸入稅は海上より青島に輸入せる貨物が租借地の境界を越えて清國內地に入る場合に初めて賦課

せらるるものとす

二、清國が條約上課すべき輸出稅は清國內地より青島に輸入せられたる貨物が租借地を出でて他の地に輸送せらるる場合に初めて賦課せらるるものとす

三、租借地内に於て產出せられたる物及び之に加工したる物品は青島より輸出せらるるに當り課稅せらるる事なし海路租借地内に輸入せられ此處に於て加工せられたる物品に關しても亦同じ

四、清國內地より青島に來れる原料品に加工して製作したる物品の輸出稅に關しては別に定むる所に依ること

五、清國の他の港灣より青島に輸送せらるる清國產の物品又は產出物に就ては其物が租借地を越えて清國內地に輸送せられたる場合に於て初めて所謂子口半稅(百分二半の沿岸貿易稅)を賦課せらるるものとす

六、青島に於て船積するに當り輸出稅を納付し而して清國の他の條約港に輸出するに當りて納稅證明書を提示する清國產の物品は前項同様の特點を保有するものとす

七、清國條約港の一より青島に廻送せられたる外國及び清國產の物品に就ては一八六一年獨逸通商條約に依れる全部の戻稅を受くるものとす

八、清國の條約港より青島に輸送したる清國產の貨物にして更に清國外の地に向け船積せんとするものは該條約港に於て既に輸出稅を納付したる事を證明するに於ては更に再度輸出稅を納付するを要せず

獨逸は該條約により清國の條約港たるの利益を確保すると共に一面自由港の制度を採用して其區域は租借地全部を包含し大に

青島貿易の發展を期したり

抑獨逸の膠州灣經營方針は之を開放して北支那に於ける香港たらしむるにありしが該協定に従ふ時は租借地と支那内地との境界に税關を設け此處にて一々通過貨物を検査せざる可らざるが故に青島及び山東内地間の貿易に繁雜なる手數を要し青島港の自由ならん事よりも寧ろ青島と山東内地との關係の密接ならん事を希望したる青島の獨逸商人は、其不便を感じる事甚だしく却つて青島貿易の發展を妨げ豫期の成績を擧ぐる能はざる狀態に陥れり、即ち支那商人は自國の法律習慣に支配せらるるを好みて青島に來住せざるがため獨逸商人が自ら内地に赴きて商取引せざるを得ず、又國境税關は支那側に取り阿片、銃器等の密貿易の取締困難にして之を嚴重に取締らんとするには多額の經費を要する等の不便ありしを以て千九百〇五年（明治三十八年十二月）該協約を改正して自由貿易區域を縮少し防波堤及び埠頭を包含する大港並に大港に面する土地を限界とし千九百〇一年一月一日より之を實施する事とせり、新協約は八ヶ條より成る其大要左の如し

支那及び獨逸政府は膠州灣租借地の貿易及び海關々係を一層良好ならしめんがために一千八百九十九年四月十七日の海關協定を更に左の如く改正する事に同意す

第一條 租借地に設置せられたる支那海關は獨逸政府の定めたる自由貿易地帯の制限に従ひ自由貿易地帯より他へ移動する總ての貨物に對し關税を徵收す支那政府は此税額中膠州海關統計課の調査によれる純輸入税の二割を獨逸政府に交付するものとす、而して此割合は假に五ヶ年間を期限とし期限後は更に協定するものとす、尙右割當金は三ヶ月毎に支拂ふべし

第二條 青島の大港のみに制限せられたる自由貿易地帯の境界及び築港の發展に伴ふ該地帯の擴張は海關の徵税に最も便宜ならしむべし

第三條 獨逸政府は膠州灣租借地輸入の貨物に對し無税の件を留保す

甲、軍需品

イ、兵器、軍需品及び被服類にして獨逸海軍省より輸送附せられたるものは膠州灣政廳の證明に依り無税とす

ロ、陸海軍省より防備の必要に充つるため送られたる材料及び糧食類は膠州灣政廳と證明に依り無税とす

乙、一般貨物

イ、機械類、機械附屬品、工業農業に必要な器具、道具及び其構成部分、公共及び官公府の建築材料は無税とす但し是等貨物の船積書類は膠州灣租借地に於てのみ使用せらるるのみなりとの證明と共に海關に提出するを要す、而して將來若し是等の貨物が支那内地に向けられたる場合に於ては其旨を届出でて關税を支拂ふ事を要す

ロ、機械類の修理に用ひらるる物品は自由貿易地帯と有税區域との取引に於て徵税せらるる事なし、然れ共此場合には之を海關吏に通告する事を要す

ハ、租借地内に送附せらるべき小包郵便は其課税金額一弗以下とし價格二十弗以下たる場合に限り無税とす、但し海關は隨時該申告を調査し小包郵便物の内容を検査する事を得ニ、旅客手荷物にして有税品又は禁品に非ざる事を證明する場合に徵税せず然れども海關は隨時之を検査するの權利を保留す

第四條 輸入税徴収に關する一八九九年四月十七日の協定中の

第五條 第九條の規定は今回免稅が單に自由貿易地帯に限られたるがために大なる變更を見たり即ち貨物は原則として自由貿易地帯を離るゝ際若くは自由區域を経ずして海路直接輸入せらるゝ際に於て輸入税を課せらるべきものとす、而して納税と共に該貨物は自由交易に供せられ税關の取締を免かるべし此結果徴税は獨り青島海關のみにて十分なるを以て今後改正法實施と共に國境及び租借地内の徴税は廢止せられ税關監視所はこれを全廢す、但し戎克貿易取締のためのものは此限にあらず

第五條 加工して輸出せらるべきものにて加工中租借地内に移すものはこれを自由貿易地帯内にある同業者より不利なる地位に置く事なるべし、尙之に關しては更に相當の協定をなすべし、租借地内に於ける營業は原則として無税を主義とし租借地の背後地より又は海路租借地に輸入せられたる原料を以て租借地に於て製造せられたる製造品は支那が條約上原料品にも課税し得る場合を除き無税とす原料と見做さるべき種類は膠州灣政廳及び青島海關と協議の上決定す

第六條 支那の開港場に於て許容せらるべき凡ての商業上及び航業上の利益は膠州灣租借地に於ても當然之に均霑するものとす

第七條 課税上の紛議及び關稅規定の抵觸に關し遵守すべき手續は一八八八年五月三十一日の會審法を適用すべく膠州政廳の官吏領事の位置に當るべし

第八條 此修正協定に抵觸せざる一八九九年の協定の條項は依然效力を有す

青島此協約は獨逸の模範的制度と誇稱する所にして無用の經費と手數を省き且輸入品に對し關稅を支拂ふ事無くして該地域内に入庫貯藏し又該地域内に於て貨物の手入加工をなし其他該地域内より眞ちに再輸出するものに對し輸出税の賦課を免かれしむる等の便宜ありて貿易の發展商工業の獎勵上極めて有利なる制度と云ふを得べし獨逸時代の青島税關長オールマル氏の說に依れば青島貿易の發展は一に此改正協定に負ふものなりと云へり大正三年十一月七日我軍の青島を占領するや税關事務は一時我軍の管理する處なりしが大正四年八月六日支兩國交渉の結果千九百十九年及び千九百〇五年の獨支條約を唯「獨逸」なる文字を「日本」と改むるのみにて其儘日支兩國の協約となし同年九月一日更に青島海關を開き以て今日に及べり其結果として元大連税關長立花政樹氏新たに當地税關長となり其他主なる職員も亦悉く日本人を採用し獨逸に代りて關稅事務を執る事となれり而して本海關を青島に置き之を膠海關と稱し尙塔埠頭、女姑口、滄口、沙子口、紅石崖及び靈山衛に分關を設け以て膠州灣の税關事務を管理せり

次に當海關の通關手續を述べんに、輸入貨物は其搭載せる船舶が入港手續を終へてより行ものにして船舶の入港せざる中は税關は輸入申告書を受理せず又船會社は船荷證券の副署をなすは船舶の入港手續完了後にして副署せざるものは入港手續未濟なりと知るべし、副署とは貨物輸入陸揚地の船會社が船貨證券の記載面と積荷目録の記載面とが一致するを證明するものなり荷物を受取らんとする受荷主は發荷主より送附し來れる船荷證券を此地の關係會社に示して（運賃未済の場合は此時に支拂ふべし之を著地拂ひと云ふ）荷渡の請永を爲すべし船會社は一應取

調べたる上之に誤謬なき時は『表記の貨物引相成度』との表示を記入して之を受荷主に返すを以て受荷主は此船荷證券に二通の輸入申告書（一通は軍司令官宛、一通は膠海關宛）と取引許可證とを添付して税關の輸入係に差出すべし、申告書に記入する記事は船名、國籍、仕出地、仕向地、記號、號、包裝數、品名、箇數、總量、風袋、純量、價格、生産地、申告年月日、申告人の商號等にして荷物が有税なる場合は重量又は箇數に特別の注意を拂ひ夫々當該關に英文又は日本文にて明記すべし、申告人の署名を要するは勿論なり船荷證券に代用する荷渡差圖書にて輸入手續を爲す場合も亦船荷證券による手續と同様なり荷渡差圖書は普通證券が受荷主の手許に到着せざる場合保證金を積むか或は確實なる保證人の裏書により船會社が船荷證券の代用として發行するものなり

税關の輸入係は右の書類を一應取調べ之を埠頭の上屋に出張執務せる税關検査官の詰所に廻送し検査官をして荷主立會の上此書類と現品とを對照して一々嚴重なる検査を爲さしむ、此際受荷主は輸入貨物明細書を持參するか或は豫め輸入申告書と共に税關に提出し置くも可なり、検査が故障無く終れば此書類には検査済の表示記入の上税關に返送せられ茲に初めて税金支拂の順序となる、云ふ迄も無く税金は海關兩を本位とするものなれば銀に換算して支拂ふべし、（税關の階下には正金銀行の出張所ありて税金授受の手續を爲す）税關に提出したる書類の中申告書二通は其儘收められ税金完納の表示を記入したる船荷證券と貨物引渡證とのみ受荷主に返され之にて税關に對する手續は終了となるを以て此上は埠頭事務所を経て貨物引取の手續をなすべし、受荷主は更に貨物引取申請書（貨物引渡申込書、埠頭

料領收書、貨物引取通知書の三片より成り埠頭事務所より請求次第直ちに交附す）に夫れ々必要の事項を記入し埠頭事務所の上屋係に差出せば上屋係は之と現品とを對照して貨物の檢斤檢才を行ふ其結果所要の埠頭料金納入済となれば貨物引取申請書の三片には各埠頭料金支拂済の表示を記入し貨物引取申告書の一片のみ埠頭事務所の船舶貨物係に收み他の二片は受荷主に返附す依つて受荷主は再び上屋に至り貨物引取通知書と引換に現品を受取る残りの埠頭料金領收書は即ち埠頭料の受取證たると共に埠頭事務所の監視所に示して現品持出しを認めしむる門票の代用を爲す又貨物引取證は膠海關出口の検査官詰所に示して現品の持出を承認せしむる門票となす若し取引貨物の中幾分かを埠頭構内より鐵道にて輸送せむとするには其個數を埠頭料領收書に記入し現品と共に埠頭事務所内鐵道貨荷扱所に持參し一般驛と同様の手續を以て輸送方を託すべし、而して殘部の箇數を持出すには其旨貨物引取證に記入して税關出口の検査場に示せば可なり、又貨物を輸出せんとするには先づ船會社に到り一定の申込書に輸送方を記入して差出せば船會社は船積差圖書（二片より成り一片は ReCePt 用を爲す）に所要の事項を夫々記入して發荷主に渡し貨物の持參場所を指示す依つて發荷主は一定の書類を作製し（此書類は送致貨物埠頭料計算書、領收書、送致貨物目錄送致貨物目錄寫の四片より成り埠頭事務所に用意しあるもの）貨物と共に船會社の指定場所（埠頭事務所々管の上屋内）に送致し置き更に前記の船積差圖書に輸出申告書二通（一通は軍司令官宛、一通は膠海關宛）を添附し税關に差出すべし税關は此種類によりて發荷主立會の上現品の検査を爲し税金支拂の手續となるまで輸入申告の場合と同じく税金

の納入を終れば船積差圖書には船積許可の表示を記入して發荷主に返附せらるゝを以て發荷主は更に埠頭事務所上屋に對し曩に提出し置きたる書類に依り現品の檢査、檢斤を受け之を埠頭事務所に持參して埠頭料を支拂ふべし、而して本書類四片の中送致貨物埠頭料計算書と送致目錄との二片は埠頭事務所の船舶係に收められ送致貨物目錄寫と領收書の二片と船積指圖書とにより埠頭事務所上屋係に對し現品の船積を乞ふべし、上屋係と船舶係との間に現品の授受完了すれば船會社は受取證（船積許可證の一片）を發荷主に渡すを以て發荷主は之と引換に船會社より船荷證券を受取り仕向地の荷受主に送附すれば可なり以上現行の埠頭稅關手續を通俗的に解説す

屠獸場近況

青島屠獸場の近況に關して某氏は語る『夏期は屠殺數も至つて少なく主として青島市場に供給する分と凍肉として麻尼拉方面へ輸送する分を屠殺するに過ぎぬ位であるが例年秋から春にかけて屠殺する牛も多少多くなる本年は直隸、山西、河南方面が飢饉の爲め該地方の農民の多數が飼牛を手放した爲め生牛は比較的山東省附近に集中して來たと農家は之れを買ひ取つて徐々に市場に供給して居る様な有様であつて本年の如く支那内地が飢饉に苦しめられても山東省にさへ持つて來れば生牛も大部分捌けて行くと云ふのも支那の農民にとつては幸福な次第であると思ふ本年は例年に比べると餘程暖かく従つて目下の屠殺數も餘り多くはないが寒くなれば多少活氣を呈して來るであらう現在青島市内で販賣して居る生肉小賣價格も方法を講ずれば尙ほ今少し引下げる餘地がある様に思はれる』云々

山鐵納入方注意

山鐵に於ける諸事業の材料其他器具消耗品の購買に關しては從來屢々納期遲滯の問題を繰返へされ居たるが今回同部計理課にては左の如き注意を商人側に向つて示達したりと

一、納期は見積に際し充分自信あるものを以て入札せられ度し往々競争的に不確信の見積を以て落札し後日に到り不當の延期を申出でらるゝは甚だしく自己の信用を損するものと承知ありたし

一、契約事項中延期を認むる場合は自己の取引店運漕店製造所等の不注意怠慢手落等に非ざる不可抗力又は之に準すべき事變に基因する場合のみを指すものなれば如上手落等の場合は紳士らしく責を負ふを至當とす

一、將來は新聞等に記載せられたる周知の事實を除き延期の理由に就ては原則として官憲の證明を要する事とす例へば外國にありては領事館内地にありては警察役場等の如し運漕店關係取引店製造所等の來信は證憑不確實なるものとして取扱ふを以て特に此點に注意を乞ふ

延滞の場合に對する理由書證明書の提出に就ては豫め注文に際し取引先に手配ありたし

署内組織變更

青島民政署々内各係の内一部變更あり十月一日より各係の處務細則改正を發表せられたるが其要項左の如し

總務課に屬する係名、文書係、學務係、庶務係、勸業係、（從來の營業係を併合す）土地係

財務課の係名、會計係、稅務係

警務課に屬する係名、高等警察係、警保係、衛生係

以上諸係の擔任事務を舉ぐれば

文書係 に於ては署員の進退身分、同服務、官邸官守、榮譽褒

賞、儀式典禮、文書の受發印刷及保存、常宿直、構内及廳中

取締等に關する件

庶務係に於ては、地方行政、賑恤及び救濟、統計報告、齋場火

葬場墓地、其他營造物に關する事項及び民籍並びに他の主管

に屬せざる件

學務係 は學術、技藝、神社及び宗教、兵事に關する事項

勸業係 に於ては、營業の許否及び營業上の證明等、市及び糶

賣、輸出入、商工業、農業及び畜產、水產、鹽業、工場、銀

行會社、其他殖產興業に關する事項

土地係 は土地に關する事項土地の定著物に關する事項

會計係 は豫算決算、現金出納傭人に關する件、物品會計、宿

舍自動車及び自轉車に關する件

稅務係 は租稅及租稅外の諸收入、賦課徵收及證券の、囑託及

受託處分、輸出鹽產地の證明徵收請負契約並建築保證金保管

に關する事項

高等警察係 は高等警察に關する一切の事項

警保係 に於ては司法警察、行政警察、消防組に關する事項

衛生係 は保健、防疫、家畜診療及獸疫豫防其他衛生に關する

一切の事項

等夫々分擔處理する筈なれば一般に諸願届を爲す際各擔任係に

注意せらるべしと

李村の葉煙

(一)

山東省内に於て米種葉煙草の栽培せらるゝに至りしは今より十數年前彼の二十里堡附近に於て米國の一宣教師が試みに播種したるに始まり、其後三年にして英米トラスト會社の設立を見會社が銳意農民に之を奨め其繁盛を計りたる結果僅かに十年を経たる今日山東產煙の八割は同會社の產出にして大正八年度の輸出高實に一萬一千四百六十五噸に達したりと傳へらる(現今東亞煙草其他邦人の經營に依るもの年產額の僅々二割弱のみ)大正七年以來李村農事試驗所にては内外各種煙草の試作を爲し數回に亘る研究の結果坊子二十里堡濰縣等の鐵道沿線に在る栽培地に比し李村地方の土地が寧ろ好適地なるを認めたるが爾來何人も進んで此種の事業に手を染むるもの無く邦人中の二三は何れも沿線に出で、英米トラスト優秀品のの選擇を了りたる後其殘物の買付を爲す有様なれば其品質亦劣等品なるは云ふ迄も無く、之が内地市場に運ばるゝ結果山東葉煙の聲價に影響を及ぼせるも當然の結果と云はざる可らず、世界を通じて人類の趣向に適する煙草の需要が多々益々増加し行く事は何人も之を諒とする處にして我帝國の如きも年々煙草類輸入の増加を著るしく示しつつある次第なり、東洋に於ける氣候風土の關係は今日迄研究されたる結果殆んど米國葉煙の栽培が最も適當なるものとされ居り我國に於ても專賣局が全力を傾注して之が栽培に努力しつつある模様なるも、適地として選べるは僅かに兵庫、廣島の二縣のみにして、又一面より我國内の農事を視れば人口夥多の今日國民生活に直接必要なる穀類の生産にすら尙且つ耕地の不足を告げつゝあるの際、到底所要量に近き葉煙草の栽培を爲さんとするは不可能にして、我國内煙草類の栽培は恐らく將來

永劫に絶望の淵にありと云ふも過言に非ざるべし、而かも之が必要又前述の如くなりとする時に於て植民地に於ける邦人が斯の種の事業に従事せむとするは蓋し國家的に意義ある事にして吾人は又之を推稱するに吝かならざるなり

(二)

李村なる山東農事會社は資本金五十萬圓三千七百坪の工場地と二町六反歩の借地（豫定地五十町歩）を有し本年二月の設立にして株主二十七名中の多くは東京在住者なり、社長渡邊四郎氏副社長中村康之助氏事務取締若杉勇以下取締役中には千秋寛氏（當地の人として）も本事業の一員として従事しつつあり

同社は日本内地に於ける米國葉煙草の需要と耕地の關係を顧慮し二十里堡附近に於ける英米トラス、會社が成功の跡に鑑み本年三月李村地方に於て一百町歩の耕地を選みて其試作を行ふ事としたるが、地方農民の頑冥無智なるが爲め本事業に對する理解なく、或は土地買収の豫備的行爲の如く或は煙草の收穫を疑ひ容易に耕作の勧誘に應ずるもの無かりしが李村民政署員（署長前田氏）李村憲兵分隊長（當時は加藤氏）係員諸氏並に同地農事試験所員等の絶大なる援助の下に奨勵誘導したる結果漸くにして李村河流域張村河流域の十五ヶ村五十町歩に亘り、耕作農民六百名との契約成立したり、此間時日を費す事三ヶ月餘三月中旬より六月下旬に及びたりと云ふ、同時に同社は農民に對し收穫を保證し萬一の場合には之を代償すべき旨を記して一般の安意を得たるが、一方に於ては李村の一地域をとし二町三反歩の苗床構成に看手し四月上旬より五月下旬迄に其播種を了へ六月下旬より直ちに本圃移植を開始したり、該地方に於ける葉煙草栽培の事は全く創始の事に屬し従つて萬般の業務に前例無く

又準據すべき何物もなかりしは當事者の相當苦心を費したる處なる柄しと思はる、本圃移植後の發育は概して良好にて九月末より昨今の收穫期に搬入せられつゝあるものに付之を見るに其作柄は坊子、濰縣よりは大なる成功を收め得たり、従つて今後耕作者が相當の經驗を積むに及んでは逐年優良なる煙草の生産を吾人は期待するものなり

(三)

今李村農民が煙草栽培に依り得る事となりし新收穫を考ふるに從來當地方の農作物は主として甘藷、小麥、高粱、大豆等にして此等に依りて得る處の收入は平均一反歩に付一箇年銀十五圓乃至二十五圓なり本年山東農事會社が耕作者に支拂ひたる生葉の買上代は一反歩平均銀卅圓内外にして多きは一反歩にて銀五十圓以上に及ぶものあり且つ煙草栽培期は小麥收穫の後なれば之を二重に加算し得る譯なり而して煙草作が地味を肥沃ならしむる事は一般に證明せらるゝ事實にして其の作後に栽培せられたる地の農作物は二割乃至三割に達し従前の比に非ず従て農民との健實なる經濟的連鎖を生ずるの一事は又以て日支親善の實を擧ぐると同時に相互の福利を増進し漸次即墨縣より山東鐵道沿線に及ぶの秋は日支兩國の爲又大なる利福を齎らすものと云ふべし

發電所擴張

最近青島發電所の作業狀態に關し松井所長は語る『目下の發電

貨客無賃輸送

北支那方面未曾有の飢饉に關しては内外人共多大の同情を寄せ帝國政府に於ても隣邦同胞の爲之が救済方法に腐心しつゝあり最近各方面に於ける我同胞の誠意ある同情的行爲は漸く支那人間上下の諒解する處となり日支親善の實を擧ぐる一助となしつゝあるは云ふまでも無き事なるが今回北支那窮民救済の目的にて支那政府が起工せんとする彼の煙臺、濰縣間の道路改築工事に被害地の難民を使用のため之が輸送方法に就き支那政府交通部よりの依頼狀を携へて天津浦線技師長にて新たに煙濰路工處々長となりし趙三氏來青し軍司令官に對し山東鐵道の運賃免除其他につき懇願する處ありしが友邦難民救助に同情を表し交通部よりの申請を容れ最初申込の輸送人員約六千名同輸送貨物四十噸の無賃輸送を認可し去る二十六日趙氏を招致し災民の慘狀に對する同情の下に特に運賃を全免する旨傳へたりと云ふ因に今同改築をなさんとする道路は自動車を通し得る程度迄に在來の舊道を修理するに止まり彼の煙濰鐵道とは何等關係無きものにて交通部よりも特に此際

今回貴國の協功により改築に着手せる濰縣、煙臺間道路は北支那飢饉地難民救済目的を以て單に在來の舊道を修築するに止まり之を基礎として將來鐵道を敷設せむとするの目的に非ず世上の誤解なき様爲念聲明するものなり

この書類を提出する事となり居れりと

新市場現況

新市場は青島市民利便を計り軍當局に於て多大の工費を投じ

能力は獨逸政廳より繼承した汽機直結發電機三臺並びに當時増設工事中であつて當發電所で完成せしめた蒸汽タービン發電機一臺及び昨年末増設完了したる長崎三菱造船所製品蒸汽タービン發電機一臺合計五臺を用ひて居る尙此外瑞典製品『スタールタービン』發電機一臺及び英國製品『バブコック』水管式汽罐三臺は昨年製作方を注文し現品は既に受領を了し目下之れに附帶せる諸設備擴張の工事を實施中であつて本年中には之等据付を完了させる見込である尙更に前述汽機直結發電機三臺及び其附屬汽罐設備の更新計畫を起し既に發電機一臺及び汽罐四臺は目下擴張工事中の物と同一式のものを製作させる事とし今之れが購買を契約し着々進行中であつて明年中には其の全部を完了し總發電力を五千『キロワット』に達せしむる豫定である前記發電設備の擴張に伴ひ市内外の給電網擴張をなす等繼承後に於ける我政府の投資額は實に二百五十萬圓に達し現在發電所としては此以上擴張の餘地がない且つ青島將來の發展方面を顧慮すれば現在發電所の位置は給電上其位置有利でないから設備の擴張は先目下の計畫實施の完了を以て一段落を告げる次第である目下の電燈数は十燭光換算十二萬二千燈であつて之れを繼承前獨逸時代の狀況即ち二萬燈に比較すれば約五倍以上の増加であつて殊に電燈は新市街の發展に伴ひ益々増加しつゝある趨勢であり最近數ヶ月間に於ける月平均増加数は實に二千五百四十餘燈を示す有様である就中動力は紡績事業に最も多く其他鐵工製粉、製油製鹽等新に申込みがあるも目下工事中の設備が完成しなければ夜間に於ける給電を謝絶するの止むを得ざる状態である』云ふ

建築せるものにして大正六年十一月起工同七年十二月竣工を告げ營業市場貸下規則及び取締規則により現在營業をなしつつあり之れが經營の目的は一は市街の秩序整理にありと雖も主として日常食料品を輕便に販賣せしめ専ら衛生と價額の統一を計るにあり所謂一種の公設市場と稱するを得べし左に坪數及び建築費を示せば敷地七百坪、建坪階上階下共に五一四坪四三、地下室四〇六坪強、高塔の頂迄九十五尺建築費金十六萬八千三百十二圓水道費七千六百四十二圓、電燈費、一千七百二十四圓、時計取付費共八千四百九十五圓合計十八萬六千七百七十三圓店舗數は魚業組合（階下）六十八戸内支那商三八、觀商場組合階上五十一戸内支那商三之れを營業別に示せば魚業組合の中生魚商二十七野菜果物商十四雜貨商一一肉商一五兩替一家賃は店舗の大小に依り異れ共階上階下を通じ一戸の平均額は一ヶ月銀五圓三十五錢に當り市中にて見るを得ざる廉價なり賣上高魚業組合の賣上高は繁閑及び二三の例外を除き一日の賣上全額は二千圓乃至三千圓にして各戸一日の賣上高は四百圓乃至十圓なり營業種類により一日の賣上平均額を示せば魚商五〇圓、野菜商二〇圓雜貨商七〇圓肉類商一〇圓の見當なり、階下の賣上は日を逐ふて益増加すべき模様なるに反し、觀商場組合の賣上高は一二の貴重品販賣店を除き一日の賣上高は五圓乃至五十圓一戸一日の平均額は六、七圓内外にして階下とは著しき相違を生じ居れり度量衡購買者の不便、不平は重に度量衡器にあり當局者も目下其取締に腐心し不正と認むるものは容赦なく所罰し或は私服を着し購買者の歸路を擁し其量目數量を點檢する等種々の方法を講ずるも尙且往々にして其不平を耳にせり、元來支那人は如何なる商取引にても必らず何等かの不正手段を以て利を貪る一種

の惡癖を有するが故に其奸策に乗せられぬ注意を要す一部の下級婦人間には支那果物商の店頭にて果物を盜食し其手腕に得意然たる者あるも利害に抜目無き支那人が如何で斯かる事を看過すべき延いて自己の購入品量目不足の結果を生ずるが如き事あり右は一例に過ぎるも要するに日本婦人としての體面上又彼等の奸策を助長せしむる事となるを以て各自注意すべき事と信す大連市場にては出口に檢量器を備へ購買者に便せり當地官憲も度量衡取締に就いては目下考案中なる由につき早晚其方法の發展を見るに至るべし以上は青島市場商況の概要なるも殊に注意すべきは勸商場の不振にして一日賣上平均六七圓にては到底收支償はざるは明かなる事實にして其原因に就いては罪を家屋の構造に嫁し自己を省みざる者あるも要するに商賣の不眞面に基因する事多し店頭小説雜誌を耽讀し客の接待を怠り或は晝時分より店を開き商賣を等閑に附するが如きは決して繁榮策として取るべき方法に非ず勸商場の營業振りは吾人の眼に内職に店舗を張るか如く頗ぶる不眞面目なる感を懷かしむ獨り其中にありて相當繁昌しつゝあるは玩具店なり今にして其發展策を講ずるに非ざれば軍當局が多額の建築費を投じ青島市民の爲めに大建築物を提供せる厚意を水泡に歸せしむるものあらん市價の先驅者たるべき尤も權威あり責任ある營業者は宜しく内容の充實を計り市民の爲めに層一層の奮勵を望むものなり

海州と青島

最近奥地小麥の不作と製粉業界の振興に連れ海州産小麥の移出は驚くべき發展を爲し、山東鐵道に依り奥地へ向け輸送せられたるもののみにても過去三ヶ月間に三萬八千餘噸の多額に上り

將來海運の便を開くに於ては益々當地との商取引は盛大に赴くべしと觀察せられつゝあるが一方徐州海州間の鐵道建設問題は當地貿易にも重大なる關係を及ぼすものにして彼の海蘭鐵道の増修及び海州の築港に關しては和蘭政府が既得の權利を有する事は何人も知る處なるが該鐵道の一終點たる徐州驛と海州間との線路の建築工事は愈々和蘭より派遣されたる技師長の到著を待ち遅くも本年中には著手せらるべしと云ふ和蘭は嘗て一八九七年黃河水運調査をなせる事ありしが今回の鐵道敷設に就ては四千萬ギダー（約我三千二百三十萬圓）を支辦すると同時に現在の徐州觀音堂間の鐵道を建設せる白耳義財團は觀音堂以西の鐵道建築を繼續せしむるため米國にて債券の發行をなすべしとの報あり徐州海州間の鐵道は全然和蘭の管理にて其建設を爲すと同時に海州には現代的海港の建設を開始すべしとの事なり而して右に關する借款の前渡金は既に前渡せられ夫々支那に於ける支那銀行及外國銀行に振替られたる筈にて海州が海港として築港し得らるゝや否やの問題は技師間に於て議論せられつゝあるが卓越せる和蘭の一専門技師が建設し得ると主張し居る地點は海州の南舊黃河口の附近海岸（灌河口の燕尾港なるべし）にして海港として築港するには從來の場所に比し一層好適のものとせられ居り若し鐵道の終點が變更する必要ありとすれば白耳義にて設計したる線路原案に多少の變更を加ふべく海港の建築は芝罘の築港に關係せる北和蘭築港港公司との間に契約し之れも近々其手にて請負せらるべしと云ふ

落花生近況

本年度當地方落花生は近來未曾有の大豐作にして市場に於て北

方貨と稱せらるゝものゝ產地即ち齊河荏平東阿平陰東平曹州東明齊陽等の黃河沿岸地方及南方貨即ち藤縣泰安萊撫蒙陰袁州等の地方は昨年に比し優に倍額の豫想にて尤も昨年は氣候不順近年見ざる收穫不良なりし爲め例年より激減を來し昨年對本年收穫は斯く大差あるも先づ例年平均產額の五割餘の増收と見て差支なからん本年は昨年の好況及其他の雜穀類より近來需要旺盛而も比較的有利なる見地より農民の多くは適當なる土地を利用し該果の作付に留意したるを以て下種面積擴大されたと下種期は北方を除くの外降雨宜しきを得發芽良好其の後雨量潤澤大に其の發育を助長せしめ且つ夏季は例年に比し溫度高く總じて結實良好を得たるとの二大原因に歸すべく本年は生果當り年にて此の豐年に依り該果作付農民のみは鼓腹擊壤天下泰平を謳歌しつゝあり

今や既に收穫時期に入るも本初秋降りみ降らずみの氣候にて幾分收穫期の遅延を免れざれば従つて市場未だ出廻りを見ざるも既に南貨集散地たる大汶口に於ては新もの取引開始せられ同地渡四元二十仙の初手合せを報せり此の如く既に新物取引も開始せらるゝたるに當市場尙夫れが音沙汰もなく寂寞の状態なるは本年未だ其の輸出先たる歐洲の需要喚起せず當山東に於ける該商は之れか注文來を鶴首され居るも未だ之等の福音を齎らずに至らず内には本年の前途悲觀視する神經も在りとかされど歐洲方面は需要時期に達し不遠注文の時節到來の事と推知するに難からず翻つて昨年は需要頓に激増に反し收穫不良の結果に由り不計近來稀有の暴騰を見るに至れりこは當初當地方の該商は漸く注文を受け比較的順調に買付續行し尙能く市場の維持を保ちたるに立遅れたる南客即ち南京方面の買客は激烈な買約を進め漸

く市場混亂の狀態に陥入らしめ且つ露商ダブルスキューは多數の買付を斷行したる結果以來暴騰に暴騰を重ね遂に九元を突破せんとするの急を報するに至つた尙且つ例年舊正月前に於ては低落を見るを常とし一般邦商は先約品に付き低落時期を見込み樂觀するものありしも遂に夫等の氣配なく殆んど失敗皆齊敷損失を蒙むるに至れり以來愈々出荷の緊縮を見契約品の不渡り多く且つ各方面に於て買約を進むるものあり従つて空賣買亂行され愈々荷渡時期に至りて劣貨を知りつゝ泣く泣く該荷の受授を餘儀なくせられ遂に商道徳を無視し瓦石を混するが加き好商を續出するの惡結果を生じ惹ては歐洲需要先の信用失墜せりとかはれが原因に依り需要者側に於ても警戒を嚴にし爲めに本年の注文時期を遅るゝものならんか加之昨年の先物契約は華商の取引に就て多額の契約金を要求し一時に向騰の結果多額の損失を來し契約の不履行は云ふ迄もなく該金の返還さへ容易ならず一ケ年の久敷に及ぶ今日に於て當節夫れが未解決のもの十數萬圓を算し之れ等多くは華商の奸策に陥りたる結果に外ならず住年邦商に於ては之れ等の苦き經驗を嘗め乍ら不注意の結果偶々昨年の如き注文殺到の盛況時に遭遇し多額の契約金を何等顯る處なく亂出したるの愚を見本年に流石は夫れが履徹の戒めにより各自自重拱手傍觀の狀態にて従つて華商側に於ても未だ活況を呈せず全然沈衰の狀態に在り

然れ共近く市場活況を呈す事なるべし吾人は大に隱忍自重を要すべきが蓋し華商は昨年の好況を猶醒めず手固く商談を進めざるなり可惜多數の荷物を固持し尙近く暴騰の夢見るもの多く引續き出荷旺盛に及び夢想は醒めて一時に瓦落投賣を演ずるの悲惨に浮沈し市場は一變し愈々邦商の有利なる時機に達し活動の

端緒を開くべきかと

協會錄事

十月定例總會

十月分定例總會は十一日午後六時協會々議室に於て開會出席會員左の如し

出席會員

(順序不定)

龍口銀行支店	東和公司支店	東亞煙草株式會社	日本棉花株式會社	安部洋行	伊藤洋行	中村組支店	濱口商事株式會社	南昌洋行	日本郵船會社出張事務所	山東運輸會社	神戶棧橋會社	青島製粉會社	泰利商會	東洋拓殖會社支店	大日本麥酒株式會社	大阪商船會社出張員
朝鮮銀行支店	鈴木商店出張所	鈴木澤洋行	大連汽船會社出張所	峯村洋行	東洋鹽業會社	山東興業會社	大倉商事會社	久原商事會社出張所	長瀬洋行	内外棉株式會社支店	青島糸廠	日華窯業株式會社	以上三十二名例により晚餐後議事を開く此の日會頭副會頭缺員			

に付石橋工業部長議長席に著き飯塚氏（前會頭）より事務の引繼を受けたるは同氏の懇請と四圍の事情萬止むを得ざるものありたるに因る次第にして願くは今夕だけの議長として御諒解を乞ふ旨一言し直ちに報告事項として新代表者の紹介あり最近に新ける新代表者は九名なるが内今夕出席せられたる分を御紹介すとて左記諸氏を紹介せり

濱口商事會社 新代表者 榎本勝吉君

日本郵船會社 同 西岡勝三郎君

神戸棧橋會社 同 鹽谷治太郎君

峰村洋行 同 大塚彌君

右諸氏は交々起て挨拶し之にて紹介を終り次に

○會員和盛公司退會の件

會員和盛公司代表者石本貫一君は九月限退會の旨議長より報告あり

○會頭副會頭問題

飯塚前會頭近澤前副會頭を殆んど同時に失ひたる善後策に就ては種々攻究中なるも未だ確定意見も見出さず本夕各位に於て充分御協議あらむことを乞ふ旨議長より一言したるに（一）新たに選舉しては如何との説（二）部長互選を以て之に當てゝは如何との説（三）會頭副會頭は對外的關係に徴するも必然的のものなれば夫々詮衡して更めて一同に圖りては如何との説等出でたるが結局

會頭副會頭を選舉するものとし其の人選に就ては別に各部理事協議の上更に會員各位に御相談すること
に決定せり

○神戸商業會議所議員來青に付接待の件

右は來る二十四日田村會頭以下二十名來青の旨協會宛通牒ありたるを以て夫々歡待することとし接待委員五名を舉げ萬事を一任せり

接待委員

工業部 石橋藤次郎君

重要物産部 河原熊太郎君

棉花糸布部 副島高市君

調査部 原辰治君

運輸部 松本文三郎君

○東京府商工業者滿鮮視察團來青に付接待の件

右は來る三十日約十名來青の報あり之は主として當地日支人と商取引開始の爲めなるが之も前項委員に一任することとなれり

○附屬運動部よりの提出事項

一、人事に關する件

二、會計整理方法に關する件

右は運動部幹事會に於て決議されたる事項を松本理事より詳述し協議の結果人事に關する件は異議なく承認會計整理に關する件は多少の議論出でたるも松本理事の熱誠ある説明及び同部今後の會計を一層慎重ならしむる事とし之を承認することとなれり

○新入會希望の件

右は青島取引所信託株式會社（代表者峰村正三君）より當協會に入會したき旨申出あり可否は例により投票によるべきや又は同會社は既に諸君に御熟知の通りなれば投票を略して直に承認すべきやを議長より圖りたるに投票を略して直に承認することとなれり

以上議事を終り午後九時半散會せり

役員會

十月十九日午後一時協會内に開會

出席常議員

河原熊太郎

西岡清市

石橋藤次郎

佐々木國藏

川畑竹馬

西村義郎

讚井源輔

會頭及副會頭豫選（會頭に佐々木國藏君、副會頭に石橋藤次郎君）並に神戸商業會議所議員歡待方に就き協議の上午後三時半散會

臨時總會

會頭及副會頭選舉を主題とせる臨時總會は豫定の通り昨二十一日午後一時協會内に開會せり

出席會員（順序不定）

東和公司支店

日華協信公司

日本綿花會社支店

原田汽船會社支店

朝鮮銀行支店

伊藤洋行

鈴木商店出張所

吉澤洋行

三菱公司

大連汽船會社出張所

日本郵船會社

山東運輸會社

岩城商會

神戶棧橋會社

大倉商會社

大連製氷會社

青島製粉會社

久原商會社出張所

青島鹽業會社 大星公司支店

内外綿會社支店 大日本麥酒會社

山東煙葉草會社 青島銀行

大阪商船會社 青島取引所信託會社

以上二十六名年常議員川畑竹馬氏臨時議長席に着き開會を宣告すると同時に役員會に於ける經過を報告し

役員會は十九日午後一時協會内に開會し會頭及副會頭人選に就き豫め協議したる處種々なる點に於て會頭に佐々木國藏氏を副會頭に石橋藤次郎氏を推舉するの至當なるを認め右兩氏に談合したるも兩氏其固辭され甚だ困惑せり依て更に再三協會の現狀を訴へ内諾を求めたる結果成程協會の現狀は此儘永く放任すべきにあらざれば多數各位の御推舉あらば萬己むを得ず微力を致すべしとのことなり故に役員會は兩氏の就任を以て協會の爲多幸なることを認めて散會せり此儀御含みを乞ふ旨一言し選舉を行ふに先ち立會人を設くることとなり議長指名說出て議長左の三氏を立會人に指名す

青島銀行 石井久次君

東和公司 河原熊太郎君

大連汽船會社 松本文三郎君

立會人の準備成ると共に直に會頭選舉を行ふ其結果左の如し
會頭選舉投票數（此の時出席者二十五名即二十五票中）

（無記名投票）

二十四票

佐々木國藏君

一票

針貝金次郎君

即ち議長は佐々木國藏君の當選を報告するや滿場拍手を以て之を迎へ次で副會頭選舉に移る

副會頭選舉投票數(此時二十六名出席即二十六票中)

—(無記名投票)—

二十一票

石橋藤次郎君

二票

針貝金次郎君

二票

田邊郁太郎君

一票

石井久次君

即ち議長は石橋藤次郎君の當選を報告し滿場再び拍手起る之に選舉終了たるを以て佐々木國藏君起て

『不肖淺學菲才にも不拘各位多數の御推舉を忝ふしたる點誠に恐縮に不堪將來出来る丈の努力を吝まざれば充分御後援あらむことを望む』云々

右大要石橋副會頭よりも一言して就任の挨拶とし川畑竹馬氏一同に代りて兩氏に對し協會の爲め益々御奮勵御指導あらむことを應へ之にて議長席を佐々木國藏氏に譲り

○工業部理事選舉

(追て決定のこと)

○重要物産部理事選舉

(同上)

○神戸商業會議所議員視察團接待の件

(既定委員一任のこと)

等を議了し午後四時散會せり

工業部會

臨時工業部會は十月二十二日午後三時協會内に開會出席部員左の如し

出席部員(順序不定)

大倉商事會社 内外綿會社支店

東和公 司 大連製氷會社

大日本麥酒會社 山東化學工業所

青島製粉會社 青島糸廠

山東葉煙草會社

以上九名石橋氏臨時議長席に着き

○工業部理事補缺選舉の件

に付き部會を開くに至りしことを述べ(一)補缺は二名なるを以て連名投票に據ること(二)萬一同點者ありたる場合は年長者を當選とすることを申合せ開票の結果最初は投票中現理事田邊郁太郎氏を投票したるものありたるを以て全部無効とし更に投票の結果左の通り得票ありたり

出席八名(投票當時)(二名連記)

五票 三宅重孝君(大日本麥酒會社)

四票 鈴木格三郎君(青島糸廠)

三票 河原熊太郎君(東和公司)

三票 百二溪深君(青島製粉會社)

一票 倉脇武治君(大連製氷會社)

即ち三宅鈴木兩君當選の旨議長より報告後石橋氏及佐々木氏交々起て從來工業部の爲め何等爲すなかりしは甚だ慚愧に不堪今日を以て理事の職を去るに當り一言御挨拶申す旨述べ次で三宅重孝氏起て挨拶あり猶は工業部長は理事中互選の上至急會頭宛通告することゝし午後四時半散會せり

重要物産部會

大正九年十月二十八日午後六時グラントホテルに於て開會出席

部員左の如し

出席部員(順序不定)

東和公同支店 三菱公同支店

東洋製油會社支社 吉澤洋行

峰村洋行 内外貿易會社出張所

湯淺洋行 鈴木商店出張所

久原商事會社出張所 泰利商會

三井物產會社支店 中村組支店

濱口商事會社出張所

以上十三名定刻に後るゝこと三十分午後六時半着席理事河原熊太郎氏議長席に着き金子部長病氣に付き理事二名の辭職あり旁々不行屆勝なりし事を謝す旨を述べ

○新利問題の經過報告

として左記大要を口述せり不幸にして新利不拂問題の起てより茲に半歲其間之が解決法に就て幾多攻究する所ありしも一般的満足なる法案も出でず遂に峰村吉澤松崎佐久間河原の整理委員を擧げられ委員は業務繁忙なるにも拘はらず問題が専ら當市場救済の大義に關係あることを信じ熱心なる解決の途を講じたる結果大体只今配布したる同業者申合せ規約により關係者各店に就き諒解を得たる結果略ぼ一致點を捉へ先づ本件を決着せんことを希望するに至れり素より問題が根本に於て頗る纏綿錯綜せるものあるを以て何人も之を以て充分なりと信するなからむも此の際一に當市場救済の眼目を以てし且つ市場復活を促進に依る相互利益の爲めに整理委員提出の本規約を賛同御容認あらむことを希望す云々とて申合規約書及之に關係ある各店值翰金勘定表爲替關係總勘定表を示し説明せしが之に對し二三質問あり

該規約書も二三項訂正して兎も角本問題を解決することに一致せり

○重要物產部理事補缺の件

右は當部理事中二名の缺員あり(峰村大村)此際之か補缺をなすべきや又は定款を改正して三名とし現存理事金子小林河原を以てすべきやを先決問題とせしも結局當部は今後對外的問題も多かるべく從來通り五名を以てすることゝし直に二名の補缺選舉を行ふことに一致したるを以て議長は投票者無記名二名連記とせられんことを注意し開票の結果左の如し

出席者十三名(二十六票中)

- | | |
|----|--------|
| 九票 | 吉澤干城君 |
| 九票 | 松崎翠君 |
| 四票 | 東條吉之助君 |
| 三票 | 櫻井信四郎君 |
| 一票 | 大塚彌君 |

即ち吉澤松崎兩氏の當選を議長より報告し次に

○神戸落花生商同盟會よりの照會事項

に就き審議したる結果右は主として輸出證明書の件に關する問題なるも未だ取引所検査規定も出でざれば此際左記回答を發することに議定せり

(照會事項別紙原文参照)

(一)神戸落花生商同盟會宛

青島實業協會重要物產部

九月二日御照會の件は當地取引所に於て未だ検査規定設定なきを以て追而御協議致すべし

○神戸油脂貿易組合よりの照會事項

に就き審議したる結果左記の通り回答することとせり（照會事項別紙原文参照）

青島實業協會重要物産部

神戸油脂貿易組合宛

九月十五日附御申越の件乍延引左記及御回答候也

左記

一、落花生油の品質に付

御申出のNo.1五%以下及水分〇、五%以下たることは承認致すこと

一、容器に付

空罐の目方は約三斤七分五厘と御承知相成度きこと

一、箱及釘に付

本年は從來通りとし御希望の件は來年より承認實行致度きこと

一、帶鐵に付

御希望通り實行致すべきこと

以上

右協議を終り午後十時散會せり

因に當夜部會に於て三菱公司の東條吉之助氏及内外貿易會社の湯川夏生氏を議長より紹介兩氏の挨拶ありたり

神戸商業會議所議員視察團來青記事

神戸商業會議所議員支那視察團一行十八名は豫定の如く十月二十四日來青せり青島滞在中の記事左の如し

△視察團氏名

會頭田村新吉、副會頭本多一太郎、同菅音次郎、議員播磨

喜三良、新原次太郎、戸田宗吉、岡田康之介、吉田喜三郎、田中儀七、植村音吉、上田實、町野良直、丸山藤介、佐々木種三郎、岸本恒太郎、宮武勢藏、鈴木助次郎、書記石川彌吉

△十月二十四日午前九時十分青島驛著、旅館安東館に入り少憩後田村會頭本多、菅兩副會頭は左記訪問挨拶せり

由比軍司令官、秋山民政長官（不在に付内田秘書官）引田參謀長、入澤總務部長、林民政署長

右訪問挨拶に同伴したるもの左記の如し

佐々木會頭、石橋副會頭、接待委員河原熊太郎、西村義郎

西岡清市、西岡勝三郎、書記長吉見正任

先是吉見書記長は一行を四方驛迄出迎諸般の打合を完了せり

△同日午後一時半團員一同旅館出門左記巡視せり

鬼頭青島新報社長宅壁畫、日獨戰蹟、工場地、臺東鎮、新市場、屠獸場

右巡視に同行したるもの軍より馬場中尉、協會より佐々木會頭以下接待委員

△同日午後七時當協會主催歡迎會を条の家に開く、出席者主客日支人六十五名、佐々木當協會々頭の挨拶本多副會頭の謝辭あり記念撮影等を了へ頗る盛會裡に同夜十時半散會

△十月二十五日午前十一時商務總會幹部と會見することとなり天津町東萊銀行樓上に成蘭圃、傅炳昭、隨石郷の三氏と

會談せり神商議側よりは田村會頭、本多、菅兩副會頭、當協會側よりは佐々木會頭、石橋副會頭、吉見書記長出席せり

△同日午後六時軍司令官邸に於て晚餐會ありデザートコース

に入るや由比司令官の挨拶田村會頭の答辭あり官邸は元獨逸總督の邸宅として建築頗る宏壯なり一行能く之を巡視し終て別室に於て經濟談に時を費し午後九時半盛會裡に退散せり

△十月二十六日午前十時田村會頭及本多副會頭は吉見書記長同伴軍司令官、參謀長、總務部長民政署長、鬼頭社長、其他を歴訪在青中の芳情を謝せり

△同日午前十一時出帆臺北丸にて田村會頭菅副會頭以下五名日本に向け歸途に就けり

△十月二十八日午後二時本多副會頭以下十名神戸丸にて大連に向け出發せり

東京府下商工業者鮮滿支視察團來青記事

東京府下商工業者より成る鮮滿支視察團一行十名は十月三十日午前九時十分來青滞在の記事左の如し

△視察團氏名

西尾信三郎 細沼株式會社取締役

サンエス インキ並年筆製造元 日本橋馬喰町四ノ一四

細沼淺四郎 細沼貴金屬工業株式會社長

貴金屬美術品製造元 神田區末廣町一

大磯重助 いわしや大磯商店主

醫療器械卸 本郷區本郷二ノ二二

高橋安太郎 いわしや器械店主

醫療器械商 本郷區春木町二ノ二二

黑川富三郎 黑川商店主

醫療器械卸及眼鏡製造卸 牛込區納戸町四〇

山田六松 山田商店主

醫科器械卸 日本橋區岩附町八

松永倉吉 松永商店主

醫科器械卸 神田區西福田町一

佐藤清三郎 播伊商店支配人

囊物靴卸 日本橋區橫山町二ノ三

三浦政次 合名會社三浦商店

セルロイド加工品製造販賣 淺草區茅町一ノ四

安本重治 府立東京商工獎勵館主事

府立東京商工獎勵館

△十月三十日午前九時十分青島驛著、旅館大和ホテルに入り

少憩後細沼團長、安本顧問は倉脇商業組合副組合長、西川

商工組合長、吉見實業協會書記長の案内にて軍司令部に由

比軍司令官、引田參謀長、山口警務部長、内田秘書官、林

民政署長、鬼頭新報社長等を歴訪挨拶せり

△同日午後二時グランドホテルに於て當協會主催商取引懇談

會を開く出席者左の如し

◎東京商工團、當協會々頭佐々木國藏、石橋副會頭、西岡棉

花糸布部理事、商業組合副組合長倉脇武治、商工組合長西

川博、實業協會吉見書記長外職員

◎青島商品陳列館主事近藤龍雄、金子民政署勸業係主任、小

川青島新報記者

◎當地よりの商工業者（順序不定）

神部彦三郎、合田澤太、白石保喜、篠村敏人、稻垣宗太郎

松澤萬三八、井上誠昌堂、今西新三良、高橋庄太郎、中原

政吉、北村勝三、和氣六郎、清水豐一の諸氏

△同日午後六時軍司令官々邸に於て晚餐會あり、由比軍司令官の挨拶、細沼團長の謝辭あり宴終て別室に於て歡談後九時退散

△十月三十一日午前九時一同旅館出門左記巡視せり

日獨戰蹟(軍より中村中尉説明の任を執らる)工場地、屠獸場、青島神社

右案内の爲め民政署より細谷屬、協會より吉見書記長酒井書記同伴

△同日午後四時半より鬼頭青島新報社長宅に招かる、社長より壁畫等に就き講話あり終て庭内に於て晚餐會あり東京商工團の外陪賓として左記出席歡談盛會裡に九時退散せり

傳炳昭、成蘭圃、隨石郷、金甲一(以上支那側)石橋當會副會頭、倉協商業組合副組合長、西川商工組合長、川畑原田汽船支店長、野原橫濱正金支店長、櫻井三井物產支店長、讚井朝鮮銀行支店長、吉見當會書記長

△十一月一日午前七時細沼團長安本顧問は吉見書記長同伴左記歴訪在青中の厚情を謝せり

由比軍司令官、引田參謀長、入澤總務部長、林民政署長、鬼頭社長

△同日午前八時青島驛發濟南經由南清に向へり

庶務要項 (十月中)

○十月一日 和盛公司退會の件民政署宛報告

○同 二日 飯塚會頭より石橋工業部長宛臨時會頭事務引繼を終る

○同 四日 湯淺安部間產地證明書に關する件書類河原重要

○同 六日 物產部理事へ移牒引渡す
飯塚重五郎氏(前三井物產支店長)本日西京丸にて青島を發程○近澤前副會頭宛記念品(銀瓶)發送

○同 七日 九月分會計帳簿石橋部長檢閲を終る○海關旬報(第二十五號)○民船貿易表(八月分)本日配附

○同 八日 ○青州驛長宛雲門山の件に付照會す○峯村正三氏母堂長逝本日葬儀に付佛前に供華○山東野球大會より協會員代表者宛案内あり

○同 八日 山東野球大會旭グラウンドに於て舉行に付サイダー二函を寄贈す○山鐵旬報(第二十七號)本日配附

○同 十一日 十月分定例總會午後六時協會に於て開催午後九時半散會○森崎、今村兩選手撞球大會を市民會協會有志主催を以て市民會内に開催す

○同 十二日 濟南實業協會宛神戸商業會議所議員團の件に付照會打電

○同 十三日 山鐵旬報(第二十八號)本日配附○新入會員青島取引所信託會社の件民政署宛報告

○同 十四日 十月分定例總會報告書民政署宛提出○夏秋東拓理事一行來訪○夏秋理事歡迎會の件回章

○同 十六日 夏秋理事より協會員代表者多數第一樓に招かる役員會開催の件回章○神商議員一行接待に付打

○同 十八日 合の爲め吉見書記長司令部民政署へ出張○雲門山見學團一行歸青

○同 十九日 東京商工團來青に付商取引懇該會出席方商業組

合及商工組合、商務總會宛照會○近澤前副會頭より謝狀到着○役員會午後一時協會内に開會午後三時半散會

○同 二十日 臨時總會開會の件回章

○同 廿一日 臨時總會午後一時協會内に開會午後三時散會佐々木國藏氏會頭に石橋藤次郎氏副會頭に選舉さる

○同 廿二日 工業部會午後三時協會内に開會午後四時散會鈴木格三郎、三宅重孝兩氏同部理事に補欠選舉さる○佐々木會頭石橋副會頭就任挨拶の爲め司令

部民政署膠海關新聞社歴訪○會頭副會頭異動の件民政署宛報告

○同 廿三日 神商議員團より當地より乗船の件及旅宿に付來電○神商議員團一行午前九時十分青島驛着來青

○午後七時条の家に於て歡迎會開催

○同 廿五日 午前十一時東萊銀行に日華貿易に關する意見の交換あり(別項神戸商業會議所議員來青記事參照)

○同 廿六日 田村會頭以下六名午前十一時臺北丸にて出發

○同 廿七日 濟南實業協會宛東京商工團の件に付打電

○同 廿八日 本多神商議副會頭以下十二名午後二時出帆神戸丸にて大連に向ふ○重要物產部會午後六時クラ

ンドホテルに於て開會午後十一時散會吉澤干城松崎翠兩氏同部理事に補欠選舉さる

○同 廿九日 下關海運業組合より照會の件運輸部理事宛移牒○神戸落花生商同盟會宛打電○神戸油脂貿易組

合宛回答文發送

○同 三十日 東京商工團午前九時十分青島驛着來青○午後二時グラントホテルに於て商取引懇談會を開く○

副島線花糸布部長令息死去本日葬儀に付佛前に供華○午後六時官邸に於て東京商工團を招宴あり

○同 卅一日 東京商工團一行日獨戰蹟等を巡視す○午後四時

鬼頭青島新報長宅に招宴(別項東京商工團來青記事參照)

附屬運動部彙報

△ウキンナ、カツプ競技 十月三日午後一時より協會コートに於て開催西郷一司君(泰和)優勝せり

△實業對米船野球試合 十月七日午後三時半より旭グラウンドに於て開催せるが六對一のスコアにて實業軍敗る

△山東野球大會參加 青島新報社主催山東野球大會は青島に於ける新らしき試みとして多大の興味を以て迎へらる參加チーム

八を數へ十月九日より十日に亘り旭原頭に於て激戰數回實業軍は最初第一回豫選に於て斯界の猛者乙卯俱樂部を三對二のスコ

アを以て敗り勢に乘じ溜川軍を四對二を以て屠り最後に中學軍との爭覇戦に入り實業軍始終敵を壓して勝勢を續けしが六回

以後に於て凡失多く遂に六對五のスコアを以て惜しき敗を採

れり
△青州附近雲門山探勝 山岳部主催の下に雲門山紀行を計畫參

加者參十余名十月十七日午後七時三十分夜行列車に乗じて出發翌十八日雲門山駝山の勝を探り一同元氣旺盛同日夜行車にて歸青せり青州驛長は一行を迎へて諸事奔走盡力せられしは當部の深く感謝する處なり
△飯塚優勝旗野球大會 當部主催の下に十月三十一日午前九時より旭グラウンドに於て舉行せらる參加チーム九最後の優勝試合に於て三井對アマチュウア兩猛者の對戦となり非常の興味を惹きしがアマチュウア軍守備に於て欠陥あり七對三を以て三井軍の勝利に歸せり

軍 公 報

○ 商 事

青島取引所長ハ大正九年九月十四日左ノ規程ヲ設定シタリ

有價證券現物取引規程

第一條 有價證券取引ノ物件ハ左ノ通トス

甲種株券

山東商事株式會社株券

青島鑛泉株式會社株券

青島信託株式會社株券

青島取引所信託株式會社株券

青島相互建築株式會社株券

山東起業株式會社株券

山東證券信託株式會社株券

乙種株券

株式會社日昇銀行株券

青島醬油株式會社株券

株式會社二五會株券

ミカド自動車株式會社株券

市街自動車株式會社株券

山東葉煙草株式會社株券

青島地所建物株式會社株券 山東信託倉庫株式會社株券
青島製罐株式會社株券 山東運輸株式會社株券
中國葉煙草株式會社株券 膠州灣曳船運輸株式會社株券
青島商事株式會社株券 山東綿紡株式會社株券
中日鹽業株式會社株券 山東物產株式會社株券
青島玻璃製造株式會社株券 中華織布株式會社株券
青島容器梱包株式會社株券

第二條 青島取引所長ニ於テ特ニ指定シタル期日ヲ履行期トス

ル甲種物件ノ賣買契約ヲ締結セムトスル者ハ所定ノ順序ニ依リ一銘柄毎ニ左ノ事項ヲ口頭ニテ申告シタル後之ヲ届出ツヘシ

一、賣買雙方ノ記號

二、賣 買 値 段

三、賣 買 數 量

第三條 現物取引ハ其ノ受渡期日ニ賣主ハ物件買主ハ代金ヲ青

島取引所信託株式會社ニ提供シ受渡ヲ爲スヘシ

第四條 現物取引ノ賣買契約成立シタルトキハ賣買當事者雙方

ヨリ受渡準備金ヲ青島取引所信託株式會社ニ提供スヘシ但シ

賣買契約成立ノ當日又ハ翌日受渡ヲ爲ス取引ニ付テハ此ノ限

ニ在ラス

前項ノ受渡準備金ノ額ハ取引人組合ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第五條 青島取引所信託株式會社ハ受渡事務ニ付相當ノ手数料

ヲ徴收スルコトヲ得

青島取引所長ハ大正九年九月八日青島取引所有價證券取引人左

ノ通免許セリ

營業所	商號	氏名
青島賑町七番地	利豐號 林商店證券部	黑木惣平
青島吳淞町四番地		三輪亮三
青島鞍馬町三番地		田村忠夫
青島所澤町三番地		富水茂一
青島山東町十七番地		王渭濱
青島天津町十四番地		劉叔衡
青島市場町十八番地		林新之助
青島輕澤町二十四番地		影井松之助
青島市場町二丁目二番地		山田隆次郎
青島早霧町三十二番地		中川勝夫
青島惠比須町二番地		甲斐廣藏
青島苦葉町十二番地		伊藤正廣

青島取引所長ハ大正九年九月九日青島取引所錢鈔取引人左ノ通
免許セリ

營業所	商號	氏名
青島所澤町八番地	關口秉	關口秉
青島所澤町三番地	富永茂一	富永茂一
青島北京町十三番地	川合金藏	川合金藏
青島河南町三番地	東魯銀行	周鼎臨
青島即墨町九番地	立誠號	呂陸甫
青島即墨町八番地	萊永春	李子德
青島野山町十九番地	萬玉記	萬子玉

青島直隸町二十番地
青島即墨町八番地
青島天津町十一番地
青島小港町一番地
青島膠州町十八番地
青島野山町十六番地
青島海泊町一番地

合興利	張發志
至誠泰	黃玉亭
乾和興	董少伯
乾順和	高學階
榮盛茂	姚豐亭
益豐棧	李守達
鄒增志	

倫敦銀塊相場

(大正九年十月)

一日	五十九片八分三	廿三日	五十三片八分三	廿五日	五十二片八分五
二日	五十九片	廿四日	五十四片四分一	廿六日	五十二片八分一
三日	日 曜	廿五日	五十六片四分一	廿七日	同
四日	五十八片四分三	廿六日	五十五片四分一	廿八日	同
五日	五十八片四分一	廿七日	五十三片八分五	廿九日	同
六日	同	廿八日	日 曜	三十日	五十二片八分三
七日	五十六片八分七	廿九日	五十三片	三十一日	五十二片八分三
八日	同	三十日	五十二片八分一	三十二日	日 曜
九日	同	三十一日	五十一片二分一		
十日	日 曜	三十二日	五十一片八分三		
廿日		三十三日	五十三片四分一		

寄贈書目

(十月中)

○月 ○月 ○月
報 自第一一五八號 名古屋商業會議所
報 至第一一五九號 仁川商業會議所
報 第一二五號 京都商業會議所
報 第五號

論	論	海	報	報	報	陸	化	報	友	論	報	花	計	報	報	報	報	計	料	料	書	報	濟	報	料	計	報	料	料	料	論
第二卷	第一卷	第四〇一號	第一五〇號	第九月號	第八卷第十號	第一卷第二號	第八一號	第一二五號	第七卷第一二號	第三號	第三卷第三編	第一卷第三編	大正九年一月	大正九年八月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月	大正九年三月
上海公論社	山東公論社	春申社	岡山商工彙報社	大坂府立商品陳列所	貿易通報社	滿蒙文化協會	岐阜商業會議所	大連海務協會	日華公論社	青島水產組合	支那經濟社	上海貿易統計局	下關商業會議所	民政部鐵道部埠頭事務所	民政部鐵道部	神奈川縣內務部	南滿州鐵道株式會社	民政部鐵道部	守備軍司令部	民政部鐵道部	工業之日本社	大阪高等商業學校	大連商業會議所	大日本紡績聯合會	南滿州鐵道株式會社	平壤商業會議所	鹿兒島商業會議所	上海公論社	東亞同文書院	東亞同文書院	東亞同文書院

青島大港兩驛乘降客人員

(九 月 中)

驛 別	一 等 車		二 等 車		三 等 車		計	
	乘	降	乘	降	乘	降	乘	降
青 島 驛	217	171	692	861	22,686	30,573	23,595	31,608
大 港 驛	29	2	390	86	10,582	688	11,001	776
合 計	246	173	1,082	950	33,268	31,261	34,596	32,384
昨_年 九 月 中	228	190	776	702	23,270	23,690	24,274	24,582

出 港 乘 船 部

國 籍	男女別	大連	大神 阪戶	門其 ノ他	朝鮮	上海	燕 港	香 港	安東 縣	浦 鹽	石臼 所	海 州	山東 省	江蘇 省	福建 省	關東 州	計
日 本 人	男	205	189	546	8	37	—	—	—	—	—	10	—	—	—	—	995
	女	48	122	200	5	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	383
支 那 人	"	1,954	39	54	45	189	1	2	70	4	42	118	1,155	523	158	1,842	6,196
	"	168	—	1	4	27	—	—	10	—	—	—	501	209	96	639	1,685
英 國 人	"	8	—	—	—	24	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	33
	"	6	—	—	—	17	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	24
露 國 人	"	7	—	—	—	22	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	32
	"	20	—	1	—	45	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	68
米 國 人	"	—	5	—	—	17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	22
	"	1	1	—	—	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23
獨 逸 人	"	—	—	1	—	5	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	7
	"	—	—	—	—	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
佛 國 人	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
伊 太 利 人	"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
瑞 典 人	"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
波 蘭 人	"	2	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8
	"	2	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
瑞 西 人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	"	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1
丁 抹 人	"	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6
	"	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
比 律 賓 人	"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
諾 威 人	"	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
葡 萄 牙 人	"	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	"	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
合 計	男	2,176	233	601	53	316	1	3	70	7	42	129	1,155	523	158	1,842	7,309
	女	245	123	202	9	138	—	2	10	2	—	—	501	209	96	669	2,206
	計	2,421	356	803	62	454	1	5	80	9	42	129	1,656	732	254	2,511	9,515

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
牛	發者	2,181	—	—	—	—	—	2,181
合 計	" "	12,885.3 7,215.6	604.6 254.3	2,122.1 2,078.3	— 8.9	4,201.6 9,369.4	14.0 —	19,827.6 18,917.5

青島港出入船舶旅客 (大正九年九月中)

●印ハ帆船出入旅客ヲ示ス

入 港 上 陸 ノ 部

國 籍	男女別	大連	大神戶	門司他	朝鮮	上海	芝罘	天津	秦皇島	安東縣	香港	浦鹽	石臼所	海州	山東省	江蘇省	福建省	關東州	計
日 本 人	男女	305 113	291 198	522 339	9 5	39 9	—	—	—	—	—	2	—	2	—	—	—	—	1,170 654
支 那 人	" "	5,082 413	74 1	16 —	48 1	212 25	852 43	2	—	822 100	—	969 5	62 8	29 4	927 422	626 204	387 198	452 185	10,570 1,612
英 國 人	" "	2 4	—	—	—	19 15	5 2	—	—	—	—	3 1	—	—	—	—	—	—	29 22
露 國 人	" "	17 14	2 3	—	—	7 6	7 2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33 25
米 國 人	" "	1 3	—	—	—	10 6	1 4	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	13 13
佛 國 人	" "	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
和 蘭 人	" "	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
獨 逸 人	" "	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
瑞 典 人	" "	—	—	—	—	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3 1
奧 太 利 人	" "	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
波 蘭 人	" "	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
伊 太 利 人	" "	4 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4 1
葡 萄 牙 人	" "	—	—	—	—	1 4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 4
諾 威 人	" "	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
ブラジル人	" "	1 1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1 1
合 計	男女計	5,413 549	368 202	538 339	57 6	293 69	865 52	2 —	1	822 103	3 4	971 5	62 8	31 4	927 422	626 214	337 198	462 185	11,828 2,347
		5,962	570	877	63	352	917	2	1	922	7	976	70	35	1,343	839	535	647	14,175

品目	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
葉煙草	發著	29.8	0.2	48.2	—	167.7	—	0.2
	"	60.5	0.3	—	—	52.0	—	246.0
茶	"	—	0.5	—	—	—	—	113.0
	"	—	0.6	—	—	—	—	0.6
豚毛	"	2.4	0.6	—	—	—	—	3.0
	"	34.9	4.1	—	—	—	—	39.0
羊毛	"	—	1.0	—	—	—	—	1.0
	"	—	0.2	—	—	11.4	—	11.6
獸骨	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	2.9	—	—	—	—	—	2.9
牛皮	"	—	0.4	—	—	—	—	0.4
	"	10.3	0.8	0.9	—	16.5	—	28.5
豚皮	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	16.5	1.3	—	—	—	—	17.8
魚類	"	267.7	9.8	—	—	—	—	277.5
	"	—	—	—	—	—	—	—
昆布其ノ他海草	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
簪	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
木粉	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	10.7	—	—	—	—	—	10.7
雜貨(表中記載ノモノヲ除ク)	"	486.9	10.3	—	—	1.7	—	498.9
	"	10.1	0.5	1.5	0.1	—	—	12.2
燐寸	"	35.6	9.5	314.6	—	—	—	359.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
燐寸材料	"	—	—	—	—	293.6	—	293.6
	"	0.2	—	—	—	—	—	0.2
火藥類	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
銅貨	"	—	4.3	—	—	—	—	4.3
	"	144.8	49.0	—	1.0	—	—	194.8
青銅錢	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	2.8	—	—	—	—	2.8
銅	"	—	0.9	—	—	7.3	—	8.2
	"	2.2	—	—	—	—	—	2.2
家具	"	7.0	1.3	—	—	—	—	8.3
	"	1.3	1.2	—	0.4	—	—	2.9
麻袋及布袋	"	127.4	22.3	—	—	223.1	—	372.8
	"	15.4	25.6	11.4	—	—	—	52.4
其ノ他	"	52.5	56.7	24.6	—	136.9	2.3	273.0
	"	65.8	32.4	20.4	2.0	95.0	—	215.6
豚	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	103	—	—	—	—	—	103
羊	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
騾及驢馬	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	15	—	—	—	—	—	15
馬	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—

品目	發著	青島驛		大港驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
石	油	—	0.1	686.2	—	254.5	—	940.8
落花生	油	—	—	7.7	—	—	—	7.7
豆	油	—	—	57.3	—	—	—	57.3
牛	油	—	—	—	—	—	—	—
	油	68.2	2.6	35.5	—	—	—	106.3
	油	10.3	0.7	13.7	—	14.6	—	39.3
油類	(表中記載ノモノヲ除ク)	0.2	9.9	—	—	14.9	—	25.0
		3.4	5.1	—	—	—	—	8.5
油	粕	295.6	2.3	16.1	—	1,157.6	—	1,471.6
肥料	各種	2.9	—	114.0	—	—	—	116.9
麥	稈	2.0	—	—	—	—	—	2.0
	眞田	53.2	3.6	—	—	—	—	56.8
安	平	2.4	0.3	—	—	—	—	2.7
		20.8	0.1	—	—	—	—	20.9
藁	及	—	—	—	—	—	—	—
	粟	10.9	0.1	—	—	—	—	11.0
鹽		—	0.3	—	—	—	—	0.3
砂	糖	308.5	10.7	15.0	—	13.4	—	347.6
		—	—	—	0.5	—	—	0.5
日	本	—	15.3	—	—	—	—	15.3
	酒	—	0.1	—	—	—	—	0.1
ビ	一	—	5.6	—	—	—	—	5.6
	ル	—	0.1	—	—	—	—	0.1
支	那	—	0.1	—	—	—	—	0.1
	酒	0.9	1.6	—	—	—	—	2.5
食料品	(表中記載ノモノヲ除ク)	1.6	34.6	—	—	—	1.6	37.8
		6.3	2.7	0.1	0.1	—	—	9.2
乾	物	8.3	3.7	—	—	—	—	12.0
		—	4.2	—	—	—	—	4.2
野	菜	164.6	9.2	8.6	—	—	—	182.4
		5.0	4.6	—	0.1	—	—	9.7
鵪	卵	—	—	—	—	—	—	—
		89.2	59.2	60.4	0.1	5.8	—	214.7
藍		—	—	—	—	—	—	—
染	塗	58.0	31.6	—	—	20.0	1.1	110.7
	料	41.2	1.3	—	—	—	—	42.9
藥	品	48.5	23.6	5.0	—	4.8	2.1	84.0
	及	7.5	1.0	13.6	—	—	—	22.1
曹	達	—	2.1	—	—	15.0	—	17.1
		—	0.1	—	—	—	—	0.1
石	鹼	4.3	1.4	—	—	—	0.5	6.2
		—	0.2	0.2	—	—	—	0.4
煙	草	4.11	54.9	—	—	4.8	—	100.8
		—	0.5	—	0.2	—	—	0.7

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠頭荷扱所		計
		一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	一車扱	小口扱	
高 粱	{ 發 著	1,175.7	—	50.8	—	—	—	1,226.5
		9.7	—	4.7	0.3	—	—	14.7
小 麥	{ "	4,701.1	—	339.9	—	233.1	—	5,274.1
		210.5	0.3	—	—	—	—	210.8
米	{ "	12.9	23.6	—	—	—	—	36.5
		39.6	4.4	14.7	—	—	—	58.7
穀 類 (表中記載ノモノヲ除ク)	{ "	2,248.7	0.2	55.1	—	6.5	—	2,310.5
		—	5.2	—	1.0	—	—	6.2
落 花 生	{ "	—	0.1	—	—	—	—	0.1
		14.1	—	—	—	299.0	—	313.1
麥 粉	{ "	18.9	2.7	—	—	—	—	21.6
		6.8	0.2	164.6	—	—	—	171.6
陶磁器及土器	{ "	0.2	1.3	—	—	—	—	1.5
		79.8	0.1	24.0	—	—	—	103.9
支 那 紙	{ "	93.8	7.0	1.8	—	7.7	—	110.3
		—	2.0	0.9	—	—	—	2.9
紙 (支那紙ヲ除ク)	{ "	—	2.6	4.4	—	—	—	7.0
		—	0.4	—	—	—	—	0.4
麻	{ "	—	0.3	—	—	—	—	0.3
		7.0	0.3	—	—	—	—	7.3
綿	{ "	2.5	8.8	—	—	234.1	—	305.4
		115.2	0.1	52.0	—	—	—	167.3
綿 布	{ "	164.7	36.0	—	—	—	—	200.7
		0.1	7.8	—	1.0	—	—	8.9
綿 絲	{ "	716.6	154.9	6.6	—	—	—	878.1
		—	0.1	302.0	0.2	—	—	302.3
綿 製 品	{ "	3.0	3.5	—	—	—	1.0	7.5
		—	1.8	—	—	—	—	1.8
絹 絲 (屑ヲ含ム)	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		21.2	3.3	—	—	2.1	—	26.6
絹 布 類	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		5.9	1.1	—	—	—	—	7.0
繭 (屑繭ヲ含ム)	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	0.7	—	0.7
棗	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		45.1	0.4	26.6	—	—	—	72.1
梨	{ "	—	0.2	—	—	—	—	0.2
		—	—	15.7	—	—	—	15.7
乾 柿	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
胡 桃	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		4.3	1.2	—	—	15.0	—	20.5
蜜 柑	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—
瓜 及 西 瓜	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		23.5	0.3	11.6	—	—	—	35.4
瓜 子	{ "	—	—	—	—	—	—	—
		—	0.4	—	—	—	—	0.4
果 實 (表中記載ノモノヲ除ク)	{ "	—	0.1	—	—	—	—	0.1
		2.3	12.1	—	—	—	—	14.4

品 目	單位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
砂 糖 (赤)	"	—	—	—	—	—
同 (白)	"	—	—	—	—	—
茶	"	2,406	—	—	—	2,406
煙 草 刻 ミ	"	22	—	—	—	22
木 製 品	"	19	—	2	—	21

青島三驛發著貨物主要品 (大正九年九月中)

(單位噸以下一位噸類ハ頭數ヲ示ス)

品 目	發 著	青 島 驛		大 港 驛		埠 頭 荷 扱 所		計
		一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	一 車 扱	小 口 扱	
石 炭 {	發 著	180.0	0.2	15.0	—	180.0	—	375.2
		4,526.0	0.4	345.0	—	7,755.0	—	12,626.4
コ - ク ス {	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	724.0	0.1	15.0	—	386.5	—	1,125.6
石 灰 {	"	—	0.3	—	—	—	—	0.3
	"	355.9	—	12.0	—	108.0	—	475.9
煉 瓦 (瓦ヲ含ム) {	"	22.9	0.1	—	—	—	—	23.0
	"	—	—	—	—	—	—	—
セ メ ソ ト {	"	25.4	0.9	—	—	2.0	—	28.3
	"	15.0	—	539.9	—	464.9	—	1,019.8
硝 子 板 {	"	8.2	4.5	—	—	—	—	12.7
	"	—	—	—	—	—	—	—
硝 子 製 品 {	"	1.2	0.1	—	—	—	—	1.3
	"	14.4	2.5	—	—	—	—	16.9
桐 {	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	279.0	—	263.8	—	—	—	542.8
木 材 (板ヲ含ム) {	"	1,028.6	10.9	426.7	—	543.9	—	2,010.1
	"	—	0.2	1.6	—	—	—	1.8
竹 及 割 竹 {	"	—	0.2	—	—	—	—	0.2
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 白 {	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	—	—	—	—	—	—	—
石 材 及 同 製 品 {	"	74.1	0.9	—	—	—	—	75.0
	"	0.2	0.4	—	—	—	—	0.6
鐵 板 鐵 製 品 {	"	71.4	19.5	1.2	—	63.3	5.4	160.8
	"	15.0	1.0	21.0	0.9	18.2	—	56.1
鐵 鍋 {	"	—	—	—	—	—	—	—
	"	20.0	0.3	—	—	—	—	20.3
古 鐵 {	"	217.5	1.3	—	—	14.5	—	233.3
	"	—	—	—	—	—	—	—
大 豆 {	"	13.5	—	28.8	—	656.9	—	699.2
	"	—	—	—	1.0	—	—	1.0
豆 類 (大豆ヲ除ク) {	"	126.4	0.7	—	—	—	—	127.1
	"	188	1.3	—	—	—	—	20.1

輸入支那品仕出地別 (大正九年九月中)

品 目	單位	上 海	芝 罘	大 連	其 ノ 他	合 計
(綿 製 品 類)						
シーチング(上海)	疋	1,600	—	—	—	1,600
雲 齋 布(同)	"	270	—	—	—	270
土 布	担	47	—	—	—	47
花 色 土 布	"	5	—	—	—	5
綿 織 絲	"	821	—	—	—	821
(雜 貨)						
砒 石	"	182	—	—	—	182
竹 筴	箇担	2,800	—	—	—	2,800
竹 筴	担	4	—	—	—	4
筍	"	156	—	—	—	156
書 籍	"	27	—	—	—	27
蠟 燭	斤	378	—	2	—	380
米	"	1,540	—	798	—	2,338
磁 石	"	29	—	23	—	52
紙 卷 煙 草	"	3,453	—	149	9	3,611
石 炭(撫順開平)	噸	—	—	—	—	—
紙 扇	箇担	—	—	—	—	—
小 麥 粉 機 械 製	担	—	—	—	—	—
夏 布 粗 製	"	2	—	—	—	2
同 精 製	"	—	—	—	—	—
藥	"	160	—	12	11	183
桐 油	"	291	—	—	—	291
紙 一 等 品	"	423	—	2	2	427
同 二 等 品	"	2,307	—	4	90	2,401
同 錫 箔	"	328	—	—	310	638
同 其 ノ 他	"	20	—	—	—	20
糖 菓	"	75	—	—	—	75
三 蒸 酒	"	163	—	—	—	163
靴 綿 及 絹 製	双担	1,124	—	—	—	1,124
生 絲 白 黃	担	—	—	—	—	—
同 精 品	斤担	258	—	—	—	258
同 鹼 條 形 田	担	83	—	11	—	94
麥 稈 真	"	—	—	—	—	—

品 目			單位	日 本	露 國	英 國	香 港	其ノ他	大 連	上 海	其ノ他	合 計
果 物	鮮 品	子 花	担	115	—	—	—	—	—	1,547	—	1,662
硝 落	生 仁	花 髮	担	—	—	—	18	—	—	25	159	202
同 頂	髮		担	6	—	—	315	—	—	3,156	33,895	37,372
				—	—	—	—	—	—	26	—	26
麥 藁	帽 子		個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
藥 豆	油		担	—	—	—	5	—	19	—	60	84
落 梨	花 生	油	担	2,240	—	—	621	—	—	322	5,200	8,383
			担	14	—	—	—	—	1	158	—	173
鹽 鹽	豚 仁		個	—	—	—	—	—	—	34	—	34
杏 瓜	子 麻		担	167,182	—	—	280,671	—	—	—	—	447,853
胡			担	—	—	—	183	—	—	7	—	190
			担	—	—	—	—	—	—	1,756	—	1,756
			担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生 絲	白 座	操 操	担	—	—	—	—	—	—	10	—	10
同 同	白 再	操 操	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 同	白 機	械 械	担	91	—	—	—	—	—	17	—	108
同 同	黃 座	操 操	担	—	—	—	—	—	—	131	—	131
同 同	黃 再	操 操	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 同	黃 機	械 械	担	52	—	—	—	—	—	212	—	264
同 同	絲 製	品 品	担	1	—	—	—	—	—	12	—	13
同 同	絲 綢	綢 綢	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 同	東 綢	綢 綢	担	1	—	—	—	—	2	83	—	86
犬 生	牛 皮	皮 皮	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生 生	羊 皮	皮 皮	担	481	—	—	—	—	147	—	53	681
麥 稈	真 田	色 色	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 同	班 色	色 色	担	12	—	—	—	—	—	48	—	60
同 同	白 色	色 色	担	828	—	—	—	—	—	115	17	960
同 同	牛 油	油 油	担	792	—	—	—	—	160	220	—	1,172
蔬 豆	素	麵 麵	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
胡 桃			担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羊 毛			担	—	—	—	—	—	—	228	—	228
米			担	—	—	—	—	—	—	—	—	—

品目	單位	日本	英國	米國	香港	其ノ他	上海	大連	其ノ他	合計
胡椒	担	—	—	—	154	—	—	—	—	154
米	担	4,607	—	—	—	—	—	—	—	4,607
昆布	担	438	—	—	66	—	—	65	—	569
日本酒	担	940	—	—	—	—	—	39	—	979
石鹼條	担	277	—	—	—	—	112	158	—	547
同曹醬	担	2,560	—	—	—	—	306	53	—	2,919
化粧用達油	担	138	—	—	—	—	302	6	—	446
糖(赤)	担	248	—	—	—	—	—	29	—	277
砂同	担	—	—	—	5,985	—	—	—	—	5,985
糖(白)	担	—	—	—	75	—	—	—	—	75
精製冰	担	675	—	—	6,183	—	—	—	—	6,858
木材(堅)	立方呎	100	—	—	—	—	—	100	—	200
木材(軟)	立方呎	7,825	—	—	—	—	38,200	31	—	46,056
同	担	723,888	—	3,945,179	—	—	—	—	—	4,669,067

輸出支那品仕向地別 (大正九年九月中)

品目	單位	日本	露國	英國	香港	其ノ他	大連	上海	其ノ他	合計
生豆	担	1,138	—	—	—	—	142	—	—	1,280
黃牛	担	20	—	—	—	—	—	—	—	20
獸肉	担	746	—	—	—	—	22	12	—	780
骨	担	782	—	—	—	—	—	—	—	782
銅豚	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿毛	担	3	—	—	—	—	—	199	—	202
鹿帽	個	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山東炭	噸	32,740	1	—	85	—	690	9,212	—	42,728
棉花	担	132	—	—	—	—	11	—	—	143
錫	担	—	—	—	69	—	—	32	—	101
黑蛋	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
蛋乾	担	120	—	—	—	—	—	—	—	120
雞卵	個	9,249,100	15,000	—	—	—	—	—	—	9,264,100
麻鹽	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
魚	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
綿 帶	担	13	—	—	—	—	—	—	—	13
パ タ ー	〃	—	—	—	—	—	11	—	—	11
銅 鈕 釦 花 鈕 釦	哥	170	—	—	—	—	800	—	—	970
蠟 燭	担	2	—	—	—	—	393	—	—	395
ヒ メ ン ト	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
磁 石 瓦 器	海關兩	1,206	—	—	—	—	15	—	—	1,221
紙 卷 煙 草	千 本	—	—	500	—	—	20,564	—	—	21,064
同 (日本品)	〃	—	—	—	—	—	—	620	—	620
掛 置 時 計	個	228	—	—	—	—	24	—	—	252
石 炭	噸	1,480	—	—	—	—	—	—	—	1,480
(染料顏料塗料)										
ア = リ ン	海關兩	260	—	—	—	—	6,548	285	—	2,093
人 造 藍	担	1	—	—	—	—	1,746	3	—	1,750
天 然 藍 液 狀	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白 鉛 粉	〃	—	—	—	90	—	—	—	—	90
ソングラー	〃	17	—	—	—	—	—	—	—	17
越 幾 斯	海關兩	4,766	—	1,598	—	—	913	—	—	7,277
電 氣 材 料										
珪 那 洗 面 器	打	170	—	—	—	—	—	—	—	170
麥 粉	担	21	—	—	12	—	37	—	—	70
窓 硝 子	箱	24	—	—	—	—	161	15	—	200
洋 燈 及 洋 燈 器	海關兩	1,336	—	—	—	—	390	—	—	1,726
燐 寸 (黃 燐)	哥	139,866	—	—	—	—	—	—	—	139,866
同 (安 全)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
疊 及 莫 座	枚	14,544	—	—	6,665	—	2,000	—	—	23,209
コンデンスミルク	打	—	—	—	—	—	41	—	—	41
針	千 本	500	—	—	—	—	495	—	—	995
石 油(米品箱入)	ガロン	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (露國箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ス マ ト ラ(裸)	〃	—	—	—	—	—	213,578	—	—	213,578
同 (箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本箱入)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (裸)	〃	—	—	—	—	—	—	—	—	—
紙	担	957	—	—	80	—	412	29	—	1,478

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
手 巾	打	300	—	—	—	—	51	—	—	351
タ オ ル	打	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	1	—	—	—	—	—	4	—	5
綿織絲 (印 度)	担	—	—	—	—	—	75	—	—	75
同 (日 本)	"	7,097	—	—	—	—	63	155	—	7,315
綿縫絲 (絲 卷)	哥	224	258	—	—	—	—	—	—	482
(毛綿交織類)										
ユニオン及ボンナ	碼	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヨーグロース										
(毛製品類)										
綾 吳 呂	疋	—	—	—	—	—	—	—	—	—
羅 世 伊 多	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
伯林ウール及毛絲	担	—	—	—	—	—	4	—	—	4
(雜質織物類)										
絹製品交織	斤	2,895	—	—	—	—	—	—	—	2,895
(金 屬 品)										
片	担	67	—	—	—	—	—	—	—	67
線	"	13	—	—	—	—	—	—	—	13
銅 板	"	15	—	—	—	—	—	—	—	15
鐵及軟鐵 (新)										
條	"	279	—	—	56	—	340	3	—	678
屑 鐵 及 屑 鐵 線	"	—	—	—	53	—	367	—	—	420
筴	"	—	—	—	9	—	354	—	—	363
條	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
釘 用 竿 鐵	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ネール(ワイヤー)	"	148	—	—	—	—	131	—	—	279
片 及 板	"	239	—	—	—	—	45	—	—	282
線	"	—	—	—	—	—	35	—	3	38
鐵 及 軟 鐵(古)	"	2,713	—	—	4,377	—	1,092	—	—	8,172
鍍 金 鐵 片	"	62	—	—	—	—	258	6	—	326
鉛 塊	"	—	—	—	359	—	—	—	—	359
鋼 鐵	"	—	—	—	—	—	4	2	145	151
葉 鐵	"	—	—	—	—	—	1,806	—	—	1,806
白 銅 片 及 線	枚	13	—	—	—	—	—	—	—	13
(雜 貨)										
麻 袋	担	834	—	—	7,209	—	758	—	—	8,801
麥 酒	"	4	—	—	—	—	60	160	—	224

青島輸出入貿易 (大正九年九月中)

— 膠海關貿易統計 —

輸入外國品仕出地別

品 目	單位	日 本	英 國	米 國	香 港	其ノ他	上 海	大 連	其ノ他	合 計
精製阿片 (綿製品類)	担	—	—	—	—	—	—	—	—	—
生金巾	疋	3,546	—	—	—	—	2,490	—	—	6,036
シーチング(米品)	"	—	—	—	—	—	820	—	—	820
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	520	—	—	520
同 (日本品)	"	8,000	—	—	—	—	—	1	1	8,002
晒金巾	"	542	—	—	—	—	700	715	—	1,957
綾金巾	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
雲齋布(米品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (日本品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
シェーン(米品)	"	—	—	—	—	—	120	—	—	120
同 (和蘭品)	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 (英品)	"	—	—	—	—	—	1,210	—	—	1,210
同 (日本品)	"	12,270	—	—	—	—	600	—	—	12,870
天竺布三十二吋	"	—	—	—	—	—	810	—	—	810
同 (日本品)	"	18,460	—	—	—	—	160	—	—	18,620
寒冷紗及綿紗	"	—	—	—	—	—	357	—	—	357
平織捺線染色各種	"	11	—	—	—	—	250	120	2,700	3,081
チンズ及平織更紗	"	425	—	—	—	—	730	1,614	—	2,769
プリントド フローネチュラー	"	—	—	—	—	—	—	—	—	—
捺線綿襪子	"	—	—	—	—	—	32	2	—	34
捺線天竺布	"	—	—	—	—	—	950	—	—	950
コットンイタリア ン及ラッスイング	"	5,033	—	—	—	—	5,254	20	—	10,307
イズドブラック	"	—	—	—	—	—	1,074	—	—	1,074
同平織染色	"	909	—	—	—	—	300	3	—	1,203
同 綾	"	—	—	—	—	—	396	—	—	396
緋金巾及綿天竺布	"	3,340	—	—	—	—	1,130	180	7	4,657
綿スパニシストラ イブ 六十四吋	担	—	—	—	—	—	36	—	—	36
綿フランネル	"	305	—	—	—	—	250	—	—	555
同 フランケット	"	23	—	—	—	—	1	—	—	24

(定不序順)

青島實業協會員

大正九年十一月現在

會 員		代 表 者		所 在		會 員		代 表 者		所 在	
岩 城 商 會 支 店	伊藤忠商事株式會社青島支店	田邊郁太郎	早舟町	山東葉煙草株式會社	伊東經真	輕藻町	日本郵船株式會社青島出張事務所	西岡清市	所澤町	所澤町	所澤町
日本綿花株式會社 青島支店	川畑竹馬	所澤町	所澤町	安部幸兵衛商店 青島出張店	一宮 晃	所澤町	東和 公 司 青 島 支 店	西岡勝三郎	所澤町	所澤町	所澤町
東亞煙草株式會社 青島販賣所	鶴原梅次郎	北京町	北京町	湯淺貿易株式會社 青島出張所	小林 乃	所澤町	朝鮮 銀 行 青 島 支 店	葉櫻町	北京町	北京町	北京町
大倉商事株式會社 青島出張所	河原熊太郎	北京町	北京町	三井物產株式會社 青島支店	櫻井信四郎	所澤町	大連汽船株式會社 青島出張所	讚井源輔	所澤町	所澤町	所澤町
橫濱正金銀行 青島支店	石橋藤次郎	早舟町	早舟町	合名會社鈴木商店 青島出張所	金子慶治	吳淞町	大日本麥酒株式會社 青島出張所	野原大輔	所澤町	所澤町	所澤町
松本文三郎	松本文三郎	所澤町	所澤町	中 村 組 青 島 支 店	貝原辰治	吳淞町	內外綿株式會社 青島出張所	野原大輔	所澤町	所澤町	所澤町
三宅重孝	三宅重孝	所澤町	所澤町	泰 東 興 業 株 式 會 社	松崎 翠	早霧町	山 田 三 平	松本文三郎	所澤町	所澤町	所澤町
佐々木國藏	佐々木國藏	所澤町	所澤町	青島製粉株式會社 青島支店	空閑知鸞治	早霧町	東條吉之助	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
市外四方庄	市外四方庄	所澤町	所澤町	新 利 洋 行 出 張 所	吉澤干城	市場通	鹽谷治太郎	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
北京町	北京町	所澤町	所澤町	福 昌 公 司 青 島 出 張 所	古賀茂登吉	野山町	神谷武松	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
市場通	市場通	所澤町	所澤町	南 昌 洋 行 青 島 出 張 所	村井與市	若葉町	藤波茂時	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
早舟町	早舟町	所澤町	所澤町	大連製氷株式會社 青島支店	湯川夏生	早霧町	鈴木格三郎	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
葉櫻町	葉櫻町	所澤町	所澤町	龍 口 銀 行 青 島 支 店	倉脇武治	三日月町	磯野清平	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
北京町	北京町	所澤町	所澤町	東省實業株式會社 青島支店	原田 昇	保定町	三好光三郎	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
工場地	工場地	所澤町	所澤町	濱口商事株式會社 青島出張所	田子金吾	若葉町	針貝金次郎	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
工場地	工場地	所澤町	所澤町	長 瀨 洋 行 青 島 出 張 所	榎本勝吉	大黑町	遠藤 要	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
青 島 銀 行	青 島 銀 行	所澤町	所澤町	日 華 窯 業 株 式 會 社	石井久次	伏波町	佐藤 要	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
青 島 銀 行	青 島 銀 行	所澤町	所澤町	山 東 起 業 株 式 會 社	中村康之助	所澤町	若 鶴 町	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
大 日 本 紡 績 株 式 會 社	大 日 本 紡 績 株 式 會 社	所澤町	所澤町	大 日 本 紡 績 株 式 會 社	村地卓爾	久留米町	早霧町	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
田 中 商 事 株 式 會 社	田 中 商 事 株 式 會 社	所澤町	所澤町	大 日 本 紡 績 株 式 會 社	倉田敬三	筑後町	早霧町	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
大 阪 商 船 株 式 會 社	大 阪 商 船 株 式 會 社	所澤町	所澤町	大 日 本 紡 績 株 式 會 社	空閑知鸞治	早霧町	早霧町	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
正 隆 銀 行 支 店	正 隆 銀 行 支 店	所澤町	所澤町	大 日 本 紡 績 株 式 會 社	川原井左司馬	早霧町	早霧町	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町
正 隆 銀 行 支 店	正 隆 銀 行 支 店	所澤町	所澤町	大 日 本 紡 績 株 式 會 社	松本正平	早霧町	早霧町	三宅重孝	所澤町	所澤町	所澤町

大正九年十一月十八日印刷
大正九年十一月二十日發行
大正七年八月十九日第三種郵便物認可（每月一回二十日發行）

發行兼編輯者
印刷所
印刷人

青島靜岡町十番地 吉見正任
青島靜岡町十四番地 青島實業協會
青島靜岡町十四番地 青島新報社
青島靜岡町十四番地 足立孝
（實費銀叁拾錢）